

---

# バカとテストとけいおん部

yosi4128

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

バカとテストとけいおん部

### 【Zコード】

Z0577X

### 【作者名】

yoshi4128

### 【あらすじ】

バカとテストと召喚獣の世界にけいおんの5人がいたらという一次創作です。けいおんの世界からけいおん部の5人しか登場しません。けいおん部の5人は明久に恋しています。梓は明久や唯などと同級生という設定にしてあります。一部原作ブレイクします。明久×瑞希・明久×美波・明久×秀吉にもなると思います。明久はハーレム状態?になると思います。木下秀吉は女子という設定について一部原作設定が違います。明久の学力は教師レベルに設定しています。こんな設定は嫌だという人はスルーして下さい。作者

はバカとテストと召喚獣の原作は小説しか知りません。けいおんに  
関してはアニメしか知りません。

## けいおんのキャラの設定（前書き）

作者のyoshi4128です。文才のない私が書く小説ですが、読んでいただければ幸いです。

## けいおんのキャラの設定

平沢 唯 (ひらさわ ゆい)

所属クラス 2・F

Aクラス下位並の学力だが、明久が瑞希を保健室に連れて行くために振り分け試験を途中退席したことから、名前を無記入で提出した。平沢憂並の家事能力を持つている。明久のことは、ナイトと呼んでいる。

得意科目 現代国語 古典 社会系の科目 (500点ぐらい)

苦手科目 数学 保健体育 (150点ぐらい)

秋山 淳 (あきやま みゆ)

所属クラス 2・F

Aクラス上位並の学力だが、明久が瑞希を保健室に連れて行くために振り分け試験を途中退席したことから、名前を無記入で提出した。明久のことは、旦那様と呼ぶ。

得意科目 数学 理科系の科目 (450点ぐらい)

苦手科目 保健体育 (250点ぐらい)

田井中 律 (たいなか りつ)

所属クラス 2 - F

Fクラス並の学力なので、普通に振り分け試験は受けた。Fクラスのムードメーカー的存在である。

明久のことは、アツキーと呼んでいる

得意科目 なし

苦手科目 全教科

琴吹 紗 (ことぶき つむぎ)

所属クラス 2 - F

Aクラス上位並の学力だが、明久が瑞希を保健室に連れて行くために振り分け試験を途中退席したことから、名前を無記入で提出した。明久のことは、明久様と呼ぶ。明久を婚約者にしたいと両親に頼んでいる。

得意科目 なし

苦手科目 なし

全科目400点以上

中野 梓 (なかの あずさ)

所属クラス 2 - F

Aクラス主席並の学力だが、明久が瑞希を保健室に連れて行くため

に振り分け試験を途中退席したことから、名前を無記入で提出した。  
明久のことは、アキ様と呼んでいる。

得意科目 数学 理科系以外のの科目 (550点ぐらい)

苦手科目 数学 理科系の科目 (350点ぐらい)

## けいおんのキャラの設定（後書き）

バカテストはやつしたらいいのか皆様の意見をお聞かせ願えればあります。

## バカテスキキャラの設定（前書き）

連続投稿はきついですね。これからは更新がかなり遅くなると思います。

## バカラスキヤラの設定

吉井 明久（よしい あきひさ）

所属クラス 2 - F

原作と違う点

教師並の学力（担当科目教師以上の点数を取れる）  
本来なら2 - Aクラスの代表。仕送りは計画的に使っていて、人並みの生活を送っている。

自分の恋愛に関しては鈍感ではなくなつていて、人並みである。  
雄二とは悪友ではなく親友である。

観察処分者ではないが、召喚獣の操作技術は学年トップ。

得意科目 全て（800点以上）

姫路 瑞希（ひめじ みづき）

所属クラス 2 - F

原作と違う点

料理に科学薬品は使わないため、絶品料理を作る。  
明久に暴力やお仕置きはしなくなつていて。

学力は学年次席並み（久保とは総合科目600点差ぐらい）  
明久のことをすでに明久君と呼んでいる。

得意科目 数学（550点以上）

苦手科目 なし

島田 美波（しまだ みなみ）

所属クラス 2・F

原作と違う点

明久に暴力やお仕置きはしなくなっている。  
明久に対しても照れ隠しあしていない。  
自分に素直になっている。  
明久のことをすでにアキと呼んでいる。

得意科目 数学 英語（250点ぐらい）

苦手科目 古典 現代国語（50点ぐらい）

坂本 雄二（さかもと ゆうじ）

所属クラス 2・F

原作と違う点

Fクラス代表だが、Aクラス主席並みの学力。  
明久の中は悪友ではなく、親友である。

得意科目 なし

苦手科目 なし

全科目 450点ぐらい

木下 秀吉 (きのした ひでよし)

所属クラス 2・F

原作と違う点

明久に恋心を抱いている。また女子であるといふこと。

得意科目 なし

苦手科目 全て (80点ぐらい)

他の原作キャラは設定はえていくつもりは現在はない。

## バカテスキキャラの設定（後書き）

バカテストのアイディアが思いつきません。皆様の意見を頂けると  
うれしいです。

次回はプロローグの予定ですが、いつ投稿できるかは未定です。

## バカテスト 第1問（前書き）

バカテストが思いついたので先に投稿します。アクセス数が500を超えているのでびっくりしました。文才のない私の作品ですが、これからもよろしくお願いします。

## バカテスト 第1問

バカテスト 第一問 保健体育

問 以下の問いに答えなさい。

『女性は（ ）を迎えることで第一次性徵調期になり、特有の体つきになり始める』

姫路瑞希・吉井明久・中野 梓の答え

『初潮』

教師のコメント

正解です。3人とも流石ですね。

平沢 唯

『ナイト（明久）とのデート』

教師のコメント

あなたは吉井君のことが好きなのですか。先生は応援しています。  
ですが、もう少し保健体育を勉強して下さい。

秋山 鶴の答え

『恥ずかしくて書けません。』

田井中 律の答え

『先生のHツチ』

教師のコメント

決してそのようなことで問題は出題していません。秋山さんも恥ずかしい事はありませんので、テストに集中して下さい。

琴吹 紗の答え

『明久様とのS X』

教師のコメント

なんと、琴吹さんいつたいぢうしたのですか？そういうことは、結婚してからにしましょう。それにしてもあなたも吉井君ですか。いえ決して羨ましいなどとは思つています。

琴吹 紗のコメント

他にも明久様を好きな娘がいるのですか！！

土屋康太の答え

『初潮と呼ばれる、生まれて初めての生理。医学用語では、生理のことを月経、初潮のことを初経という。初潮年齢は体重と密接な関係にあり、体重が43kgに達するころに初潮を見るものが多い為、

その訪れる年齢には個人差がある。日本では平均十一歳。また、体重の他にも初潮年齢は人種、気候、社会的環境、栄養状態などに影響される『

教師のコメント  
詳しく述べです。

## バカテスト 第1問（後書き）

次こそはプロローグを投稿できればと考えていますが、どうなるかは作者にも判りません。感想や作品のアドバイスなどお待ちしております。感想やレビュー・ポイントは作者の励みになりますので、よろしくお願ひします。これが少ないと作者は創作意欲が出ません（笑）

## 第0話 プロローグ（前書き）

なんとか完成したので投稿します。次回の投稿は未定です。感想の返信などができずに申し訳ありません。必ず返事はしたいと思います。

## 第0話 プロローグ

ある日の5人の会話

唯「皆、私好きな人ができちゃったんだよ。」

律「おう唯、それは誰なんだ？」

唯「それは吉井明久君だよ。私のナイトなんだ。ナンパされるときに助けてくれてさあ。」

唯のこの一言で他のメンバーは、ライバルが増えたと思った。

梓「唯もアキ様のことが好きなんですか！？駄目ですアキ様と恋人になるのは私です。」

律「おいおい梓何を言つている？アツキーと恋人になるのは私だ！」

梓「律こそ何を言つている。律みたいながさつな女の子は明様好みではないよ。」

澪「まあまあ二人とも落ち着いてくれよ。唯も梓も律も何を言つているんだ？旦那様と恋人になるのはこの私だ！！」

ムギ「澪ちゃんも何を言つてるの？明久様と恋人どころか婚約者になるのは私よ！？」

唯「だつたら皆でナイトの恋人になればいいんじゃない。」

律「それは名案だな、唯。皆はどうだ？」

ムギ「私はそれでいいわ。明久様に愛してもらえるな」「

梓「いいですよ。皆さんを超えて私がアキ様の一番になりますから」

澪「皆がいいならいいよ。」

律「じゃこれからは私達は恋する仲間つてことだな。」

唯「これからは皆で互いにサポートしていくことだね。」

梓「アキ様はAクラスの代表になるはずですから、私達はAクラス入りすればいいってことですよね。」

澪「だが、ここ一人問題のあるやつがいるぞ? なあ律?」

律「澪、私がバカだとでも言いたいのか?」

澪「違うのか?」

律「私たってAクラスに入れるぞーーー!」

澪「律、三権分立の司法と国政とあとひとつなんだ。」

律「なめるなよ澪。一いつまで答えが絞れるぜ。」

澪「ほう? ーーー?」

律「漢方か憲法のどちらかだ！！」

澪「馬鹿。行政だ！！」

ボロリとこう音が響いた

律「何するんだよ澪！！私の頭を殴る」とはないだろう。

梓「律はAクラスどころかFクラス確定ね（汗）」

律「おい梓なんてことを言つんだ。」

唯「じめんりつちゃん。あずこちゃんの言つとおりだよ。」

律「ムギ皆が私をいじめるよ（泣）」

ムギ「じめん。つちひやんの顔の言つてることとは間違っていないわ。

律「皆なんか嫌いだ！！」

唯「まあまありつちゃん。私達がナイトと仲良くなつてつちひやんと接点つくるから。」

律「本当か唯。じゃ恋の共同連盟を作ろっせ。」

5人「解った（わ）（ぜ）」

こうして5人は明久の恋人になるための共同戦線を誓つたのであった。

## 第0話 プロローグ（後書き）

いかがでしたでしょうか。私はまったく自身がありません。ですがこれからも精一杯書いていこうと思います。次回はバクテストの予定です。

## バカテスト 第2問（前書き）

バカテスト第2問投稿です。なかなか考えるのが難しいです。

## バカテスト 第2問

問題 第二問 国語

以下の意味を持つことわざを答えなさい

(1) 得意な事でも失敗してしまう事

(2) 悪い事があつたうえに、更に悪い事が起きる喩え

姫路瑞希・琴吹紬の答え

(1) 弘法も筆の誤り

(2) 泣きつ面に蜂

吉井明久・中野梓の答え

(1) 河童の川流れ

(2) 踏んだり蹴つたり

平沢唯・秋山澪の答え

(1) 猿も木から落ちる

(2) 弱り田に祟り田

教師のコメント

正解です。Aクラスレベルには簡単な問題でしたね。

#### 田井中律の答え

(1) 猿も木から蹴り落とす

(2) 泣きつ面蹴つたり

#### 教師のコメント

あなたは鬼ですか。

#### 土屋康太の答え

(1) 弘法の川流れ

教師のコメント  
シユールな光景ですね。

#### 島田美波の答え

(1) アキの女装姿に猿も木から落ちるほど可愛い

(2) アキのメイド姿でご奉仕

#### 教師のコメント

あなたも吉井君ですか。 いつたい吉井君は何人の女子から好意を持たれているのでしょうか（泣）

平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓のコメント

島田さんあなたもなの？私達の敵よ！絶対負けないから。

## バカテスト 第2問（後書き）

次回は何を投稿するのか案が浮かばないので間がかなりあくと思います。感想やバカテストのアイディア作品への要望やアドバイスなどお待ちしています。

## 第1話 試合戦争編 開幕（前書き）

書きあがつたので投稿します。小説を創るのは疲れますね。気がついたらこんな時間になっていました。

## 第1話 試験戦争編 開幕

西村 「吉井 おはよひ」

玄関で呼び止められる。

声のした方を見ると、そこには、浅黒い肌をした短髪のいかにもスボーツマン然とした男が立っていた。

明久 「あ、西村先生。おはよひります」

軽く頭を下げて挨拶をする。なにせ相手は教師だ礼儀をはらわないといけない。

西村 「吉井、受け取れ。」

先生が箱から封筒を取り出し、僕に差し出してくる。宛て名の欄には『吉井明久』と、大きく僕の名前が書いてあった。

明久 「受け取らなくても結果はわかっていますから。」

西村 「一応は規則なんだな。渡しておかないとな。残念だったな。テストを受けていれば学年主席どころか教師並みの成績だったのにな」

吉井 「それでも姫路さんを放つておくことはできませんでした。」

西村 「一応再試験ということと講義したんだがな。試験担当教師と学園長だけが認めなかつた。規則は規則だといつてな」

吉井 「先生のその気持ちだけでもうれしいです。」

西村 「そうか。来年は頑張ってくれよ。」

明久 「はい。では、Fクラスに行きます。失礼します。西村先生」

そうして明久はFクラスに向かった。

それから少ししてあの5人が来た。

唯 「おはよう～ 西村先生」

澪・ムギ・梓 「おはようございます。西村先生。」

律 「おはよう。鉄人先生。」

西村 「おはよう。田井中俺の名前は鉄人ではないぞ。」

田井中 「それはすいません。鉄村先生。」

西村 「田井中！鉄人と俺の名前を合わせて斬新な名字を作るな！俺の名前は西村だ。」

ボコッという音が響いた。

田井中 「痛いじゃないですか。西人先生。」

西村 「もう一発殴られたいみたいだな。」

唯・澪・ムギ・梓 「すいません。西村先生」

西村 「田井中は後で補修だ。振り分け試験の結果だ。しかし、俺も長年教師をしてきたが、全教科名前なしの答案は初めて見たぞ。」

唯 「あれ？ 名前書いていませんでした？」

澪 「名前を書いたはずですが。」

ムギ 「私も書いたと思います。」

西村 「俺は誰がとは言つていなぞ。やはりわざとだったのか。狙いは何だ？ 4人はAクラスに入れたはずだが。」

唯 「ナイトのいないAクラスは意味がありません。」

澪 「旦那様のいないAクラスには興味がありません。」

ムギ 「明久様と同じクラスがいいんです。」

梓 「アキ様のいるクラスじゃないと意味がないです。」

西村 「吉井が憎い位に好感をもたれているな。田井中はFクラスが当たり前だな。」

田井中 「ちょっと待つて下さい。私がFクラスなのは常識なのでですか！？」

西村 「お前が馬鹿なのは、去年からのことからだろ。もういい早くクラスに行け。」

5人 「では失礼します。西村先生（西村鉄人）」

西村 「田井中は放課後補習室まで来い。」

こうして5人はFクラスに向かつた。

## 第1話 試召戦争編 開幕（後書き）

いかがでしたでしょうか？次回はバカテストを予定しています。作品に対する感想やアドバイス、バカテストのアイディアなどお待ちしています。

## バカテスト 第3問（前書き）

バカテスト考えるのが大変ですね。ネタが浮かびません。バカテストのアイディアを心からお待ちしています。

## バカテスト 第3問

問題 第三問 化学

『調理の為に火にかける鍋を制作する際、重量が軽いのでマグネシウムを材料に選んだのだが、調理を始めると問題が発生した。このときの問題とマグネシウムの代わりに用いるべき合金の例を一つあげなさい』

姫路瑞希・吉井明久・中野梓・秋山澪・琴吹紬の答え

『問題点……マグネシウムは炎にかけると、激しく酸素と反応するため危険であるといつ点

合金の例……ジュラルミニン』

教師のコメント

正解です。合金なので鉄ではダメと言つひつかけ問題なのですが、皆さんは引っかかりませんでしたね。

平沢唯の答え

『問題点……マグネシウムは炎にかけると、激しく酸素と反応するため危険であるといつ点

合金の例……鉄』

## 教師の「メント

問題点は正解なのですが、合金の例なので鉄では不正解です。

### 土屋康太の答え

『問題点……ガス代を払ってなかつた事』

### 教師の「メント

セイは問題じやありません。

### 田井中律の答え

『合金の例……未来合金（すいごん）』

### 教師の「メント

すいごん強いと言われても

### 木下秀吉の答え

『問題点……明久と私が熱々のカッフルという点

### 合金の例……私の演劇魂

### 教師の「メント

問題点、合金の例共に間違っています。合金に関してはざらやった

ら作れるのでしょうか？

問題点に関しては木下さんと吉井君はお付き合いしているのですか？  
あなたも吉井君ですか。彼はいったい何人の女性から好かれている  
のでしょうか？

平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓のコメント

木下さんあなたもの？私達の敵よ！…絶対負けないから。

木下秀吉のコメント

それは私のセリフよ。明久は私のだもの。

島田美波の答え

『問題点……鍋を創つたこと。

合金の例……アキに対するうひの愛で作る合金』

教師のコメント

問題点、合金の例共に間違っています。合金に関してはビリやつた  
ら作れるのでしょうか？

平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓のコメント

島田さん彼の「」とはあきらめてよ。

無理よ。いつとアキは一緒に添い遂げるのだから。

## バカテスト 第3問（後書き）

次回はFクラスでの自己紹介になると思います。次回の更新は水曜日になると思います。なぜなら作者が火曜日までテストなものですから。感想、作品への要望等お待ちしています。

## 第2話 試召戦争編 自己紹介（前書き）

テストが終わったので、投稿を再開します。

## 第2話 試験戦争編 自己紹介

2年Fクラス 初日のH.R

福原 「おはようございます。Fクラスの担任を務めます……」

担任らしい教師は、薄汚れた黒板に視線をやり手を伸ばさうとして……視線を皆の方に戻した。

福原 「福原慎です。よろしくお願ひします。」

明久 「……チョークすらまともにないんですか？ 良く見たら黒板消しもないんですね（汗）」

福原 「後で申請しておきますので、授業には間に合はずです。」

全員が改めて、ここが最悪の環境であることを実感した。

福原 「皆さん全員に、卓袱台と座布団は支給されますか？ 不備があれば、申し出てください。」

不備という言葉に、全員がありますと言わんばかりに名乗り出た。

モブ1 「俺の座布団、綿が入ってないんですけど」

福原 「我慢してください。」

モブ2 「俺の卓袱台、脚が折れています。」

福原 「木工ボンドが支給されてるので、後で自分で直してください。」

モブ3 「窓が割れてて、隙間風が寒いんですけど。」

福原 「ビニール袋とセロハンテープを申請しておきますので、後で直してください。」

1つ1つの質問を丁寧に応えていく福原教諭。

しかし大半が大きく分けて“我慢してください”か、“自分で何とかしてください”的の2択のみ。

学力最低クラスのFクラスの教室である。

福原 「必要なものがあつたら、極力自分で調達する様にしてください」

明久 「これがFクラスですか……」

福原 「そういう事です。これがこの学園の方針ですから、不満があるならしつかり勉強して来るべき試合戦争に勝ちあがつてください。それでは、自己紹介をお願いします。そうですね、廊下側の人からお願いします。」

と言われ、まずは廊下側の一番最後に座っている秀吉が立ち上がった。

「木下秀吉です。演劇部に所属しています。今年1年間、よろしくお願いします。」

彼女にしたいランキング上位にランクインしている。しかし、告白されても明久一筋なため告白を全て断っている。

ムツツリー二 「……土屋康太」

次にムツツリー二事、本名土屋康太。

本名は知られておらず、異名であるムツツリー二の名は割と知られている存在である。

美波 「島田美波です。海外育ちで日本語は会話はできるけど、読み書きが苦手です。あ、でも英語はそこそこできます。育ちはドイツだったので。趣味は……」

一日三回切り、明久をちらりと見てから一言。

「吉井明久です。」

ほぼ全員が明久に対してカッターを構えるが、明久は畠を全力で殴り威嚇した。

畠がボコッと凹んだ。

畠を壊した明久を見て構えた全員が萎縮してしまった。

全員が本能で察知し、逆らわないことを誓つた。

次は明久の番となり、軽く咳ばらいをした。

明久 「吉井明久です。Fクラスにいます。去年は学年主席でした。一年間よろしくお願いします。」

モブ達 「何ー…………！」

モブ1 「何故Fクラスに？」

明久 「振り分け試験を途中退席したのです……」

モブ達 「なるほど。」

やつして次の人の自己紹介が始まる。

唯 「平沢唯です。好きなものは美味しいお菓子とナイト（明久）です。一年間よろしく」

モブ達「うおおおおお。女子だ。今年のFクラスは女子が多くて万歳だな。」

澪 「秋山澪です。好きなものはかわいいぐるみです。一年間よろしくおねがいします。」

モブ1 「秋山さん俺と付き合って下さい。」

モブ2 「抜け駆けするな。俺と結婚して下さい。」

澪 「めんなさい。那様がいるから無理です。」

澪は顔を赤くしながら言った。

モブ達「そんな（泣）」

律 「田井中律だ。好きな人はアツキーだ。一年間よろしく。」

モブ達「またしても吉井か。羨ましきる。」

ムギ 「琴吹紬です。明久様とは婚約者なのでよろしくお願ひします。一年間よろしくお願いします。」

モブ達「吉井はギャルゲの主人公だな（泣）」

梓 「中野梓です。アキ様と結ばれるのは私です。一年間よろしくお願いします。」

モブ達「吉井もてる秘訣は何だ？」

明久 「秘訣って言われても…（汗）」

ガラッ！

瑞希 「あの、遅れて、すいま、せん……」

モブ達「え？？」

そこへ、息を切らせて胸に手を当てている女子生徒が現れた。

その姿に、男子生徒全員が意外を通り越したかのように驚いた声が上る。

福原 「ちょうどです。今自己紹介をしているところなので、姫路

さんもお願いします。」「

瑞希 「は、はい！ あの、姫路瑞希と聞こます。よろしくお願ひします！」

途中から尻すぼみな自己紹介を終えて、小柄な体を縮み込ませた。

モブ1 「はいっ、質問です！」

瑞希 「あ、はいっ。なんですか？」

モブ1 「何でここにいるんですか？」

傍から見れば失礼な質問ではあったが、ほぼ全員（明久と唯達を除く）がそう思っていた事だった。

彼女は容姿も人目を引く程で、テストでは1ケタの順位に必ず名を連ねている学力の持ち主でもある。

当然こんな場所に来るべき人間ではなく、最高設備であるAクラスに入っている物と誰もが思う事。

だからこそ、この質問はある意味必然なものだった。

瑞希 「そ、その……振り分け試験の最中、高熱を出してしまって……」

AからFまでのクラス分けは、学年末に行われる振り分け試験で決まる。

その試験は難しいという評判だが、途中退席は〇点扱いにされると  
いう厳しいテストである。

モブ2 「そういうえば、俺も熱（の問題）が出たせいでFクラスに」

モブ3 「ああ、化学だろ？ あれは難しかったな」

瑞希の言い分を聞いて、一人がそう言いました。

それを皮切りにざわつき始め、次の言い訳が飛び交う。

モブ1 「俺は弟が事故に遭つたと聞いて、実力を出し切れなくて」

モブ4 「黙れ1人っ子」

モブ2 「前の番、彼女が寝かさせてくれなくて」

モブ3 「今年一番の大嘘をありがとう」

その様子を見て、明久は一言。

「……想像以上にバカが多いな」

それを聞いて、女子はうんうんと頷いた。

瑞希「で、では、今年一年よろしくお願ひしますー。」

瑞希は逃げるよじこ、明久と雄一の間の空いてる席に着いた。

彼女は席に着くや否や、安堵の息をついて卓袱台に突つ伏してしま

う。

その姿に光一は明久に田配せをして、あの事を聞くことにしたと意  
思表示。

明久 「瑞希、体調は大丈夫?」

瑞希 「よ、吉井君!？」

明久の顔を見て、瑞希が驚いた。

明久 「瑞希? 僕何かした?」

瑞希 「いえ、いきなりなので少し驚いただけです。」

雄二 「俺も話に入つていいか?」

そこへ雄二が話かけてきた。

瑞希 「いいですよ……えつと?」

雄二 「坂本だ、坂本雄二。体調の方は大丈夫か?」

瑞希 「はい。おかげさまですっかりよくなりました。」

雄二 「それは良かった。そういえば、俺の知人にも明久に興味がある奴が居た気がする。」

雄二のその言葉で明久は嬉しそうに、瑞希は驚いた。

明久「え？ それは……」

瑞希・美波・秀吉・唯・澪・律・ムギ・梓 「それって一体誰ですか！？」

明久の声を遮るかのように、女子が声を荒げた。

それも必死そうな表情のオマケつきで。

雄二 「とりあえず、落ち着け。姫路身体に障るぞ？ しかし、全員随分と必死だね？」

「え？ そつそれは……」

明久 「皆も色恋沙汰には結構敏感なんだ？」

瑞希・美波・秀吉・唯・澪・律・ムギ・梓 「そつその……はい。やっぱり恋をするって素敵な事だと思いますから、つい力が入ってしまって」

明久が微笑ましそうに女子を見て居る傍らで、雄二は半ば呆れたようになに明久を見ていた。

明久 「ねえ雄二、話の続きを聞かせてよ？」

雄二 「そうだな。確か、木下……優子だつたか？」

木下優子 性別（／メス）

現在Aクラス所属

雄二「良かつたな明久。 いつたい何人の女子から好意をもたれてるんだ？」

明久「雄二。 教えてくれてありがとう。 僕にも解らないよ。」

パンパン！

福原 「はいはい。 その人たち、 静かに」

バキイツ！ パラパラパラ……

福原 「してください……ね？」

本人としては、 軽くたたいたつもりだろう。

だが、 壊してしまった事は事実の為、 少々気まずそうな態度に。

福原 「ええ。 代えを持つてきますので、 皆さんは自習をしていてくださいね」

明久「どれだけ酷い設備なんですか！？」

福原 「これがFクラスです」

福原教諭の台詞に、 何度も改めて設備のひどさを理解させられる面々だった。

明久 「うん…… ねえ雄二、 ちょっと良い？」

雄二 「おつ。」

明久は雄二を伴い、廊下へ。

瑞希が怪訝そうな顔をして見送り、唯達に問いかけた。

瑞希 「吉井君と坂本君、どうしたんでしょうか？」

唯 「ああ？ 私は解らないよ～ナイトのこと気になるの？」

瑞希 「え？ いつ、いえ、そういうわけでは……」

唯・澪・律・ムギ・梓 「まさか姫路さんもナイト（旦那様）（アツキー）（明久様）（アキ様）のことを好きなの？」

瑞希 「はい。私は明久くんのことが大好きです。」

唯・澪・律・ムギ・梓 「姫路さん絶対に負けないから。」

瑞希 「私だつて負けません。小学校のときから好きだつたんですから。」

そんな話をしているとき明久と雄二は廊下でこんな話をしていた。

雄二 「話なんだ？」

明久 「教室設備の事なんだけどね・・・」

雄二 「酷いな…俺もさすがにこ～までとは思わなかつた」

明久 「だよね、Aクラスの設備を見た?」

雄二 「凄かつたな、あんな教室見たことないな」

明久 「そこで、提案なんだけど、2年になった事だし、試験戦争をやってみない?」

雄二 「戦争だと?」

明久 「うん。Aクラス相手にね」

雄二 「姫路と、平沢達か?」

明久 「うん。皆はちゃんとした設備で受けるべきだと思つ」

雄二 「…明久がやる気なら俺は反対しない。ちょうど俺もAクラス相手に戦争を仕掛けようと思つていたところだ」

雄二は初めからAクラスに戦争を仕掛けるつもりだったんだ?でもなんでだろ?

雄二 「明久、俺はな、幼馴染の誤解を解くために、Aクラスに試験戦争を仕掛ける。それが理由だ。」

明久「そなんだ」

雄二 「ああ、つと先生が戻ってきた。教室に入ろう明久」

明久「うん」

雄一と僕は教室に入った。

福原 「では続きををお願いします」

先生はHRの続きを進める。

自己紹介は進んでいき、先生が「では最後にクラス代表の坂本君、お願いします。」

雄一 「了解」

坂本君は前にたち、全員を見て…

雄一 「Fクラス代表、坂本雄一だ。代表でも坂本でも好きに呼んでくれて構わない」

雄一はまたしばらく黙つてから「皆に聞きたい事がある」と言つてクラス全体を見回す。

雄一 「Aクラスは冷暖房完備の上、座席はリクライニングシートらしい」

呼吸おいて、告げた。

雄一 「不満はないか?」

Fクラス男子全員（明久と雄一を除く）「大ありじゃあつ……！」

モブ1 「いくら学費が安いからと言つて、この設備はあんまりだ！改善を要求する！」

モブ2 「そもそもAクラスだって同じ学費だろ？あまりに差が大きすぎるー。」

雄一 「みんなの意見はもつともだ。そこで」

雄一 はなんか不敵な笑みを浮かべ、

雄一 「これは代表としての提案だが」

また、一拍おいて引き金に手をかけた・・・

雄一 「FクラスはAクラスに『試合戦争』を仕掛けようと思つ」

クラス代表、坂本雄一は戦争の引き金を引いた。

## 第2話 試合戦争編 自己紹介（後書き）

いかがでしたでしょうか？原作と似ているよくな気がします。原作ブレイクしていけるように頑張っていきますので応援よろしくお願ひします。感想や評価ポイント、作品に対するアドバイスや要望、バカテストのアイディアなどお待ちしています。感想が少ないと作者の創作意欲がなくなるのでよろしくお願いします。

バカテスト 第4問（前書き）

スランプです。バカテストが考えつきません。

## バカテスト 第4問

問題 第4問 数学

以下の問いに答えなさい

- (1)  $4 \sin X + 3 \cos 3X = 2$  の方程式を満たし、かつ第一象限に存在するXの値を一つ答えなさい。

- (2)  $\sin(A+B)$  と等しい式を示すのは次のどれか、?の中から選びなさい

- 1  $\sin A + \cos B$     2  $\sin A - \cos B$     3  $\sin A \cos B + \cos A \sin B$

姫路瑞希・吉井明久・平沢唯・秋山澪・琴吹紬・中野梓の答え

(1)  $X = / 6$

(2) 4

教師のコメント

角度を『。』ではなく『』で書いてありますし、正解です。

土屋康太の答え

(1)  $X = \text{およそ} 3$

教師のコメント

およそをつけてごまかしたい気持ちもわかりますが、これでは回答に近くても点数はあげられません。

## 田井中律の答え

(2) よりも2

教師のコメント

先生は今までたくさんの生徒を見てきましたが、選択問題でおよそ  
を着ける生徒は君が初めてです。

## バカテスト 第4問（後書き）

ほぼ原作のバカテストになってしまいました。文才があればいいのに（汗）

### 第3話 試合戦争編 戦力はどうのへり?（前書き）

連続投稿はきついですね。さて今回は雄一がクラスを動かします。  
ではじめ。

### 第3話 試召戦争編 戰力はどのくらい？

雄一 「Fクラスは、Aクラスに“試験召喚戦争”を仕掛けようと思つ。」

壇上に自己紹介の為立つた筈の雄一の、いきなりの提案。

それに対し、クラスメイト達は当然否定的な意見の嵐を巻き起しだ。

モブ1 「勝てるわけがない！」

モブ2 「これ以上設備が落とされるなんて嫌だ！」

モブ3 「姫路さんが居たら何もいらない！」

モブ4 「中野さんと結婚したい！」

モブ5 「平沢さんの手料理をが毎日食べたい！」

バカなFクラスが、学年トップのAに戦争を仕掛ける。

試召戦争は負ければ設備を1ランク落とされるのだから、更に最低になる事を考えれば自殺行為に当たるし、非難の嵐が吹き荒れるのは当然である。

後半は自分達の願望であるが、それは叶わない。

だが雄一は、その非難の嵐に怯む事もなく、代表らしい堂々とした

姿を崩す姿勢が見られない。

ある程度治まり、不敵な笑みを浮かべ口を開く。

雄一 「皆がそう思うのも無理はない。だがこのクラスには、勝てる要素が揃っているからこそその提案だ。今からそれを説明してやる」

自信に満ちたその発言に、クラスはしんと静まった。

不敵な笑みを崩さないまま、雄一はある個所に視線を向けた。

雄一 「おい、康太。いつまでも姫路や平沢達のスカートの中をのぞいてないで、前に出てこい。」

ムツツリー 「……………（ブンブン）」

瑞希 「は、はわっ！」

堂々と覗いていたにもかかわらず、必死に顔と手を振つて否定し始める少年。

顔に付いた明らかな畳の痕を隠しつつ、前に出ていく。

雄一 「紹介しよう。ここがあの有名なムツツリーだ」

ムツツリー 「……………（ブンブン）

ムツツリーと並び立てる、クラスがざわめいた。

その名は男子から畏怖と畏敬を、女子からは軽蔑を持つてあげられ

ており、その正体は謎。

……とされていた人物が、今日の前にいる。

モブ3「バカな、奴がそつだと言つのか？」

モブ1「だが見ろ、いまだ必死に手で押さえて隠そうとしてるぞ？」

モブ4「ああ、ムツツリの名に恥じない姿だ」

瑞希と唯だけは頭に疑問符を浮かべていた。

雄二「姫路の事は説明するまでもないだろ？ 皆だつてその力は知つてるはずだ」

瑞希「えつ？ わつ、私ですかっ！？」

雄二「ああ、主戦力だ。期待している」

その容姿と共に知られている彼女の成績を考えれば、もつともな話である。

モブ2「そうだ、俺達には姫路さんが居るんだつた！」

モブ3「彼女なら、Aクラスにも引けを取らない」

モブ1「ああ。彼女が居れば何もいらない」

雄二「木下秀吉だつているし、俺も当然全力を尽くす。」

次に、学力ではあまり聞かない物の、優等生である双子の姉と演劇部のホープという要素で有名な人物。そして自身もまた、代表として名乗りを上げた。

モブ2 「坂本って、神童とか呼ばれてなかつたか？」

モブ3 「それじゃあ、実力はAクラスレベルが2人も居るつてことかよ？ もしかしたら、やれるんじゃないか？」

モブ6 「ああ、なんかやれそつた気がしてきた！」

士気は確実に上がつていき、ほぼ全員やる気が出始めて来た。

そこへ雄一の一言

雄一「それと、吉井明久と平沢唯と秋山澪と田井中律と琴吹紬と中野梓が居るんだ。」

歓声が教室内に響いた。

モブ3 「吉井って……あの学園主席どころか教師レベルつて話の！？」

モブ5 「ああ。学園から教師にならないかつてスカウトが来てるつて話だろ？」

モブ4 「平沢さん達はAクラスレベルの学力だからな。」

モブ1 「けど、田井中律つて誰だ？ 聞いたことがないんだが？」

先ほどとは違う意味でざわめき始めた。

律 「ちよつと坂本！ どうしてここで全く関係ない私の名前を呼ぶのー？」

雄二 「明久達の事は知っているみたいだから良いとして、田井中を知らないなら教えてやる。ここには学年最下位だ。」

モブ2 「……それって、戦争で使えないってこと？」

誰かのその発言は、律の心中に深く突き刺さった。

律 「ちよつ違つよつー学年最下位は坂本だよ。」

雄二 「俺は点数を調整してFクラスの代表になつたんだ。田井中がいるが、ハンデにはちよつどい。」

律 「自分から降つておいて、そのセリフはないんじゃないー！」？

澪 「まあ落ち着け律。これから挽回すれば良いだろ？」

澪になだめられ、一先ずはと席に着く律。

それに構う事なく、力強く演説し、自信満々に言った。

雄一 「とにかくだ！ 僕達の力の証明として、まずはDクラスを倒す。既、この境遇は大いに不満だらつー？」

モブ達 「当然だ！」

雄一 「ならば全員筆を執れ！ 出陣の準備だ！」

モブ達 「おお―――つ――！」

雄一 「俺たちに必要なのは、卓袱台ではない！ Aクラスのシステムデスクだ！」

モブ達 「うおお―――つ――！」

美波・瑞希・唯・澪・律・ムギ・梓「お、おー……」

雰囲気に押され、瑞希達も懸命さが見て取れるように小さく拳をふりあげる。

その姿に明久が和んでる所に、雄一の一言。

雄一 「田井中には、Dクラスへの宣戦布告の為の死者になつて貢う。無事大役を果たせ！」

律 「……下位勢力の宣戦布告の使者つて、大抵酷い目に遭つよね？ しかも今字が違わなかつた？」

雄一 「大丈夫だ、騙されたと思って行つてみろ。俺は友人を騙す事はしない」

律 「わかつたよ、それなら使者は私がやる」

下位勢力との試合戦争など、面倒でしかない。

だからこそ、そんな面倒事を持つてくる奴に危害を加えない訳がない。

いだろ？。

結局雰囲気に流され、律は意氣揚々と出ていった。

ある程度時間がたつたところで、雄一が一言。

雄一 「とまあ、ああいつバカだ。皆も危なくなつたら、あいつを囮にしてさっさと逃げるよう！」

明久 「やつぱり……仕方ない。僕も行つてくる。」

雄二 「お前も物好きだな。」

明久 「雄一が酷過ぎるだけだよ。」

数分後

律 「騙されたあつ……！」

その後しばらくの後、律が教室に転がり込んできた。

Dクラスに掴みかかられ、ぼろぼろになつた姿を見た雄一は一言。

雄一 「やはりそつ来たか

律 「やはりつて何だよ！？使者への暴行は予想通りだつたんじやないか！ 明久が来てくれなかつたら、今頃どうなつてたと思つてるの！？」

雄一 「それ位予想できないで、代表が務まる訳ないだろ

律 「少しば悪びれてよーー！」

明久 「まあ落ち着いてよ。雄一も酷すきるよ。律に謝つてよ。」

そこへ明久が戻ってきて、律を宥めた。

律と違ひ無傷のその姿に、雄一は一言。

雄一 「さすが明久だな。」

雄二 「これは思わぬ収穫だな。生贊ではなく、お前を行かせるべきだったか？」

律「生贊って言った！？ 今生贊って言ったね！！？」

内容を考えたら、当然である。

雄一 「そんな事より、今からミーティング行うぞ？」

と暫つ雄一の言葉に従い、主要メンバーは屋上へ。

そして、屋上にて。

雄一 「で、田井中。時間は伝えたのか？」

律「うん。今日の午後からつて伝えといた。だから先にお昼ご飯だね？」

秀吉「気になつていつたんだけど、なぜロクラスなの？」

まず真っ先に、秀吉が疑惑をぶつけた。

それもそのはず、段階を踏んでいくならEクラスが妥当であり、目的はAクラス。

雄二「簡単だ。明久達に問題がない今、Eクラスなら正攻法でも勝てるが、Dクラスは難しい。それに初陣だから派手にやって景気つけたいし、Aクラス攻略の為に必要な要素がDクラスにはある」

明久「成程。つまりこれは、最初のステップってわけだな？」

雄二「ああ。ここにいるメンバーは最強だ、お前達が俺を信じて協力してくれるなら勝てる！」

雄二の確信した表情による言葉に、全員が頷いた。

雄二「代表として、頼りにさせてもらひぞ。田井中以外！」

律「ひどい……」

Dクラス VS Fクラス

今年度初の試験召喚戦争が、幕を開ける。

学園長「ほお～っ、今年の2年は1学期初日から試召戦争やむつてのかい？ 面白いじゃないか、承認してやりな。」

高橋「承知いたしました。」

学園長 「さて、どうなるかね？ 見せて貰おうじや……ん？」 F  
クラスと言えば、吉井達が居るクラスかい？」

高橋 「はい。吉井明久、坂本雄一、平沢唯、秋山澪、琴吹紬、中  
野梓、姫路瑞希がいるクラスです。」

学園長 「そういうかい。それはますます面白そうじゃないか……見せ  
てもういいよ。吉井。」

### 第3話 試召戦争編 戦力はどのくらい？（後書き）

けいおんから律しか出せてない。次回は唯達も必ず出しますのでご勘弁を。次回はバカテスト？かな？作者はバカテストを考えつかないのでアイデアをお待ちしています。

## バカテスト 第5問（前書き）

バカテスト投稿。今日の更新はラスト？

## バカテスト 第5問

問題 第5問 英語

以下の英文を訳しなさい

「This is the bookshelf that my grandmother had used regularly.

」

姫路瑞希・吉井明久・島田美波・平沢唯・秋山澪・琴吹紬・中野梓の答え

「これは私の祖母が愛用していた本棚です。」

教師のコメント

正解です。きちんと勉強していますね。

土屋康太の答え

「これは」

教師のコメント

訳せたのはThisだけですか。

田井中律の答え

「

\*

」

教師のコメント

地球上の言語で書いてください。

木下秀吉の答え

「私が愛しているのは明久だけです。」

教師のコメント

吉井君が好きなのは解りましたが、不正解です。

平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓のコメント

私達ももっと積極的に行かないと…

## バカテスト 第5問（後書き）

次回はDクラスVSFクラスの予定です。感想等お待ちしています。

## 第4話 試合戦争編 Eクラス VS Dクラス 前編（前書き）

戦闘シーンがつまく書けない。どうしよう。まだBクラスやAクラスもあるのに（汗）では本編をどうや。

## 第4話 試験戦争編 Fクラス VS Dクラス 前編

美波 「アキ！ 木下達がDクラスの連中と渡り廊下で交戦状態に入つたわよ！」

ポニー・テールを揺らしながら駆けてきたのは同じ部隊に配属された美波。こうして改めて見ると、背は高くて細い脚も綺麗だ。

現在前線にいるのは秀吉が部隊長の前線部隊。 そして僕が率いる中堅部隊。 僕が部隊長だ。

西村 「さあ来い！ この負け犬が！」

Dモブ1 「鉄人！？ 嫌だ！ 誰かたす  
！」  
イヤアアアア！

……よし、試験召喚戦争の雰囲気は分かつた。

明久「美波、中堅部隊全員に通達」

美波 「作戦？ なんて伝えるの？」

明久 「総員突撃！」

美波 「了解。」

美波 「総員突撃よ。」

美波達が突っ込んでいく。

美春「あつ、そこにはFクラスの美波お姉さま！五十嵐先生、いらっしゃってください！」

美波「くつ！ 抜かつたわ！」

遅れて追いかけると、島田さんがDクラスの一人に見つかっていた。

Fクラスでは女子は少ないし簡単に見つかっちゃうよね。

美春「お姉さま！ 逃がしません！」

美波「くつ、美春！ やるしかないとね……！」

……なんだか、妙に緊迫してに入るタイミングを逸してしまった。

美波・美春「試獣召喚！」

二人がお互いに召喚獣を呼び出して相対する。

Fクラス 島田 美波 VS Dクラス 清水 美春

化学 53点 VS 94点

美春「お姉さまに捨てられて以来、美春はこの田を一田千秋の思いで待っていました……」

美波「ちょっと！ いい加減ウチのことは諦めてよー。ウチにはアキがいるんだから。」

..... 美波、お姉さまって？

美春「嘘です！ お姉さまは美春のことを愛しているはずです！ そして私は明久お兄様のことを愛しています。」

美波「このわからずやー！」

明久「試験召喚！」

Fクラス 吉井 明久 化学 894点

明久「ごめん。清水さん。」

Fクラス 清水 美春

化学 894点 VS 0点

一撃で清水さんを戦死させた。

美春「お兄様酷いです。放課後、データーして下さいね。」

明久「了解。」

美波「アキ。ウチも行くからね。」

西村「戦死者は補習ー！」

美春「いやあ。助けて下さい。お兄様とお姉さま。」

明久・美波「ごめん。清水さん（美春）」

こつして美春は補習室に連行された。

明久 「美波。点数を補給してくれるんだ。」

美波 「分かったわ。アキ。」

美波は補給試験を受けるためFクラスへ向かった。

明久 「とにかく！ 秀吉達が補充をしている間、前線を維持するんだ！ 一步も進ませないように！」

怒号が響くなかで大声を張り上げる。

D 指揮官 「前線さえ突破すればこっちのもの！ 一気に攻め落とす！」

相手も負けずに指示を出してくる。

向こうも必死。とにかくやるしかない！！

モブ3 「吉井隊長！ モブ0がやられた！ これで布施先生側は残り二人だ！」

モブ7 「五十嵐先生側の通路だが、現在俺一人しかいない！ 援軍を頼む…」

モブ6 「モブ9の召喚獣がやられそうだ！ 助けてやつてくれー！」

こちらは劣勢だ！

明久 「布施先生側の人達は防衛に専念！ 五十嵐先生側の人は総合科目の人と交代！ モブ9は僕が助ける！」

モブ達 「了解！」

僕の指示にしたがつて動き出す。 さて僕は……

明久 「高橋先生！ Fクラス吉井明久がモブ9に代わって受けます！ 試験獣喚！」

Fクラス 吉井明久 VS Dクラス モブ1

総合科目 9756点 VS 1589点

Dモブ達 「何！？」

Dモブ2 「馬鹿な！？ Fクラスの奴がそんな点数を！？」

Dモブ3 「モブ2俺達も加勢するぞ。」

Dモブ2・3 「試験獣喚！」

D モブ2・3 総合科目 1496点 1531点

明久 「いけええええええ！」

Fクラス 吉井明久 VS Dクラス モブ1・2・3

総合科目 9756点 VS 0点 0点 0点

一撃で3人を倒した。

僕の力を見せた！　ここで相手の指揮官を倒す！！

明久「高橋先生！　Fクラス吉井明久がDクラス指揮官に試験召喚勝負を挑みます！」

D 指揮官「ちくしょ！　試験召喚！」

D 指揮官は悔しそうにしながらも召喚に応じた。

Fクラス吉井明久　VS　Dクラス　指揮官

総合科目　9756点　VS　1674点

D 指揮官「くそおおおーー！」

D 指揮官ががむしゃらに召喚獣で突っ込んできた。単純な動きなので、避ける。

すれ違い様に刀で斬る。

Fクラス　吉井明久　VS　Dクラス指揮官

総合科目　9756点　VS　0点

明久「Dクラス指揮官、吉井明久が討ち取つたりーー！」

大声で勝ち名乗りをあげる。

Dモブ5 「なにー!?

Dモブ4 「馬鹿なー!?

相手は動搖して、

モブ1 「うおおーー!

モブ2 「いくぞーー!

味方は士気をさらに上げた。

## 第4話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス 前編（後書き）

美春と明久のフラグ成立？作者自身も驚いています。次回はバカテ  
ストかな？感想等お待ちしています。

## バカテスト 第6問（前書き）

感想や評価などの応援ありがとうございます。気がついたらPV  
16000越えをしていて驚きました。ではバカテストスタート。

## バカテスト 第6問

問題 第六問 物理

問 以下の文章の（ ）に正しい言葉を入れなさい。

光は波であって、（ ）である。

姫路瑞希・吉井明久・平沢唯・秋山澪・琴吹紬・中野梓の答え

粒子

教師のコメント

正解です。皆さんは簡単でしたね。

土屋康太の答え

寄せては返すの

教師のコメント

君の解答はいつも先生の度肝を抜きます。

田井中律の答え

勇者の武器

教師のコメント

先生もRPGは好きです。

島田美波の答え

ウチの大好きなアキの笑顔を連想させるもの。

教師のコメント

問題の答えとしては不正解ですが、吉井君のことを女たらしと思えるようになりました。

木下秀吉の答え

明久を愛したいと思う気持ち

教師のコメント

問題の答えとしては不正解ですが、吉井君はいったいどれだけの女性に好かれているのでしょうか？

平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓のコメント

私達はどうすればいいの？神様教えて下さい！！！！！！

## バカテスト 第6問（後書き）

皆さんに質問ですが、Dクラス戦が終わった後、美春＆美波のデータは書いた方がいいのでしょうか？感想に書いて頂けるとうれしいです。期限は明日の正午までとさせて下さい。

## 第5話 試合戦争編 Fクラス VS Dクラス 後編（前書き）

すいません。今回はかなり短いです。そのかわり、美波＆美春のデータを頑張りますので、勘弁して下さい。

## 第5話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス 後編

指揮官を失ったことに動搖し、Dクラスの攻撃は弱くなつた。

僕が一気に四人も補習室送りにしたのを警戒しているようだ。

ここで一気に敵を全滅させる。

明久 「高橋先生。Fクラス吉井明久がそこにいるDクラスの生徒に日本史で挑みます。試験召喚！」

Fクラス 吉井 明久 日本史 1092点

Dモブ達 「何ーー！1000点越えだと！？俺達が勝てるわけない。仕方ない試験召喚！」

Dモブ達 日本史 1874点（18人）

明久 「腕輪発動！ベクトル操作。相手を300秒動けなくする。

Dモブ達 「何だと！？勝てるわけがない！？」

明久 「さよなら。」

Fクラス 吉井 明久 日本史 1042点 VS Dモブ 日本史 0点×18

一撃で相手全員を戦死させた。

明久 「このままDクラス代表倒すぞ！」

モブ達「了解。吉井隊長。」

一気に廊下を走りぬけDクラスの教室まで来た。

明久 「Fクラス吉井明久です。Dクラス平賀君に現代国語勝負を挑みます！」

「！？ ちつ、けどお前じゃ俺は倒せない。」

Fクラス 吉井明久 VS Dクラス 平賀源一

現代国語 851点 VS 130点

平賀 「なにい！？」

驚いている平賀君。前線部隊から僕について報告を受けていないのかな？

驚いている隙に接近して刀で斬る。

一撃で平賀君は倒し、Fクラスの勝利が確定した。

## 第5話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス 後編（後書き）

明久の腕輪が最強すぎですね。ベクトル操作はあのアニメから持つてきました。

美波＆美春のデートは読みたいという意見が多数なので書くことにします。今から考えますので少々お待ち下さい。感想等お待ちしています。

## バカテスト 第7問（前書き）

バカテスト更新。しかし明久はハーレムだよなあ。 作者も書いていて羨ましきるよ。

## バカテスト 第7問

問題 第七問 生物

以下の問いに答えなさい

「人が生きていぐ上で必要となる5大栄養素をすべて書きなさい。」

姫路瑞希・吉井明久の答え

「1 脂質 2 炭水化物 3 たんぱく質 4 ビタミン 5  
ミネラル」

教師のコメント

正解です。特にコメントはありません。

土屋康太の答え

「初潮年齢が十歳未満の時は早発月経という。また、十五歳になつても初潮がない時を遅発月経、更に十八歳になつても所長がない時を原発性無月経といい……」

教師のコメント

保健体育のテストは前に終わりました。

平沢唯の答え

「 1 ナイト 2 ナイトの愛 3 ナイトの手料理 4 ナイ  
トとのH 5 ナイトとの子供」

### 秋山澪の答え

「 1 旦那様 2 旦那様の愛 3 旦那様の手料理 4 旦那  
様との嘗み 5 旦那様との子供」

### 田井中律の答え

「 1 アツキー 2 アツキーの愛 3 アツキーの手料理 4  
アツキーとの夜の嘗み 5 アツキーとの子供」

### 琴吹紬の答え

「 1 明久様 2 明久様の愛 3 明久様の手料理 4 明久  
様とのS X 5 明久様との子供」

### 中野梓の答え

「 1 アキ様 2 アキ様の愛 3 アキ様の手料理 4 アキ  
様との交わり 5 アキ様との子供」

### 教師のコメント

吉井君。あなたの内申点は0点にしておきます。

### 木下秀吉の答え

「 1 明久 2 明久の愛 3 明久のパエリア 4 明久との

## 甘い新婚生活 5 明久との結婚式

### 教師のコメント

吉井君。あなたはいつたいでどれだけの女性を惚れさせているのでしょうか？

### 吉井明久のコメント

分かりません。すいません。

### 平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓のコメント

それだけ魅力的なのは良いけど、私達のことを考えてよ（泣）

## バカテスト 第7問（後書き）

次回の更新は未定です。何故なら美春と美波のデータが書きあがつていなかから。感想等お待ちしています。

## 第6話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス その後（前書き）

皆様、お待たせしました。美波と美春のデートを書いたので投稿します。皆様の反応が正直不安です。ではどうぞ。

## 第6話 試合戦争編 Fクラス VS Dクラス その後

Dクラス代表 平賀源一 戦死

モブ達 「やつたー…………！」

モブ達 「いやあああああー！」

その知らせを聞いたFクラスの歓声とDクラスの悲鳴が混じり、大音響が校舎内を響いた。

モブ1 「凄えよ！ 本当にDクラスに勝てるなんて…」

モブ4 「これで畠や卓袱台ともおさらばだな！」

モブ7 「ああ。あの設備はDクラスの連中の物になるからな。」

モブ2 「坂本雄二ママママだなー！」

モブ8 「やっぱり代表は凄い奴だったんだなー！」

モブ9 「坂本万歳！」

モブ5 「吉井万歳！」

モブ10 「姫路さん、愛していますー！」

モブ3 「平沢さん結婚して下さいー！」

代表である雄一を褒め称える声がいたるところから聞こえてくる。  
最後の結婚してくださいはなんで？

雄一「ああ、まあ。何だ。手放しで褒められると、なんつーか

頬をポリポリと搔きながら明後日の方向を見る雄一。

モブ1「坂本！握手してくれ！」

モブ2「俺も…」

皆にとつて雄一君は英雄だね。この光景を見るだけでどれだけ皆  
が、教室に不満を持っていたのが分かる。

明久「雄一！」

雄一「明久」

明久「おめでとう雄一」

雄一「ありがとう。明久のおかげで思ったより早く決着がついた  
し、平沢達を使わずにすんだ。」

平賀「まさか吉井君がFクラスでこれほどの実力だなんて……。  
・・信じられん」

明久「ごめん。平賀君」

平賀「いや、謝る事はない。全てはFクラスを甘く見ていた俺  
達が悪いんだ。」

平賀 「ルールに則つてクラスを明け渡そつ。ただ、今日はこんな時間だから、作業は明日で良いか?」

明久 「その必要はないよね? 雄一?」

雄一 「ああ。その必要はない。」

モブ達 「え? 何で?」

雄一 「ロクラスを奪つ氣はないからだ。」

モブ達 「坂本、それはどういふことだ? 折角、普通の設備を手に入れることができるのに」

雄一 「忘れたのか? 僕達の田標はあくまでもAクラスのはずだろ?」

律 「何で最初からAクラスにしないの?。おかしいよ。」

雄一 「少しばは自分で考へろ。そんなんだから、田井中は近所の中学生に『バカなお姉ちゃん』なんて愛称をつけられるんだ。」

律 「坂本。そんな半端にリアルな嘘をつかないでよー。」

雄一 「おつとすまない。近所の小学生だったか。」

律 「人違ひです。」

雄一 「本当に言われたことがあるのか?」

「冗談のつもりで言つたのにこいつ顔をする。雄二。」

雄二 「と、とにかくだな。Dクラスの設備には一切手をだすつもりはない。」

平賀 「それは俺達にはありがたいが…………それで良いのか？」

雄二 「もちろん、条件がある。」

平賀 「一応、聞かせてもらおうつか」

雄二 「そんな大したことじゃない。Dクラスには3ヶ月間Fクラスの駒になつて貰うだけだ。」

平賀 「それだけでいいのか？」

雄二 「そういう悪い取引じゃないだらう。」

それだけで三ヶ月のもの期間をあの教室で過ごすという状態から逃げられる。決して悪い取引ではないね。

平賀 「それはこいつとしては願つてもない提案だが、何故、そんなことを？」

平賀君の疑問はもつともだ。

雄二 「これから戦争に必要なんだな。」

平賀 「やつか。では、」ちらはありがたくその提案を呑ませてもらひやう。

雄一 「今日はもう行つていいぞ。」

平賀 「ああ。ありがとう。お前らがAクラスに勝てるよう願つているよ。」

雄一 「ははつ。無理するなよ。勝てっこないと思つてているだろ?」

平賀 「それはそつだ。AクラスにFクラスが勝てるわけがない。社交辞令だな」

じゃあ、と手を挙げてロクラス代表、平賀君は去つていった。

雄一 「さて、皆一。今日ははい苦勞だった! 明日は消費した点数の補給を行つから、今日のところは帰つてゆつくりと休んでくれ! 解散!」

平賀君が去つた後、雄一が「ちらを向いて号令をかけると、皆は雑談を交えながら自分のクラスへと向かつていった。

美春 「お兄様にお姉さま。約束しましたどつにドートに行きましょう。」

明久 「分かったよ。美波に清水さん。」

美春 「お兄様。美春と呼んで下せい。」

明久 「み・美春。これでいい?」

美春 「はい」

美波 「美春にアキ。ウチのこと忘れてない?」

明久・美春 「そんなことはない(ありませんわ)」

明久 「何処に行く?」

秀吉 「待つて。明久!どうして私も『デート』に連れってくれないの?」

明久「だつて。約束してなかつたし・・・」

秀吉 「酷いよ。私も行きたいな(涙田+上田遣い)」

美波 「駄目よ。木下。ウチとアキと美春で『デート』するんだから」

律 「ちょっと待つた!いつの間にそんな約束したんだ。私だつて行きたい!」

澪 「私だつて旦那様と『デート』したい。」

唯 「ナイトと『デート』したい」

梓 「アキ様と『デート』行きたいです。」

ムギ 「婚約者である私と明久様は『デート』をするのは当然です。」

秀吉・美波・美春・唯・澪・律・梓・瑞希 「誰が婚約者ですか!」

?（怒）

瑞希 「私だつて明久君とデートしたいです。」

女子が自分を巡つて争いを始めたのを見た明久は困惑気味になつていて何かを考え始めた。

明久 「今日は美波と美春と出かけるから」めんね。」

秀吉・唯・澪・律・ムギ・梓・瑞希 「そんなあ～酷いです。」

明久 「そのかわり皆とは今度出かけるから、ね。」

秀吉・唯・澪・律・ムギ・梓・瑞希 「分かりました。約束ですよ。」

「

明久 「じゃあ、行こうか。美波。美春。」

美春・美波 「はい。お兄様。（了解、アキ。）」

明久 「皆また明日。」

秀吉・唯・澪・律・ムギ・梓・瑞希 「また明日ね～」

ひつして皆と別れた明久達は学校から帰宅する。

明久 「二人とも何処行きたい？」

美波 「映画なんてどう?」

明久 「僕はいいけど、美春はどう?」

美春 「私も良いと思います。」

美波 「映画館に行くわよ。」

美波がそう言って、腕を組んできた。

美春 「じゃあ、反対側は私が組みます。」

美春も反対側の腕を取り組んだ。

明久 「ねえ、二人とも。腕に柔らかい物が当たってるんだけど。」

美波 「アキのエッチ（上目使い）」

美春 「当てるんです。お兄様（顔真っ赤）」

明久 「グハ。ダメージが大きい。まあ早く行こう。」

二人とも僕の理性を壊す気なの?

そんなこんなで映画館に到着した三人。

明久 「何の映画にするの?」

美春 「この映画はどうですか?」

そういうて恋愛映画をのポスターを指していた。

美波 「いいんじやない。アキはビリ?」

明久 「いいんじやない。チケット買ってくるよ。」

美春 「お兄様。自分の分くらい払いますよ。」

明久 「せっかくの『データ』なんだからそのぐらい払わせてよ。じゃあ行こうか」

明久 「すいません。学生三枚お願いします。」

受付 「学生証をお持ちですか?」

明久 「一人とも学生証ある?」

美春 「はい。お兄様。」

美波 「はい。アキ。」

二人は明久に学生証を渡した。

明久 「これでいいですか。」

受付 「はい。大丈夫です。 円になります。」

明久 「これでお願いします。」

受付 「 円ちょうどお預かりします。ではこちらがチケットです。ありがとうございます。」

明久 「じゃあ行こうか。美波。美春」

美春・美波「行きましょー。」

映画が終了した後の3人は…

美波 「今日はありがとね。アキ」

美春 「今日はありがとうございました。お兄様。」

明久 「喜んで貰えて良かつたよ。」

美波・美春 「目を閉じてアキ（目を閉じてください。お兄様）」

明久 「ええ！？何で！？」

美波・美春 「いいから、早くして。」

明久 「了解」

明久が目を閉じたのを確認して、美春と美波は明久にキスをした。

明久 「二人とも何をしたの！？」

美波・美春 「今日のお礼よ（です）」

明久は顔を真っ赤にしてしまった。

気まずい空氣になってきた。

美波・美春 「アキ（お兄様）明日学校でね」

二人は満足そうに明久に別れを告げて帰つていった。

一方明久は…

明久 「美春に美波明日からどう接すればいいのか分からなによ（汗）」

顔を真っ赤のままそのようなことを考えていた。

こづして明久と美波＆美春のデートは終わった。

## 第6話 試召戦争編 Fクラス VS Dクラス その後（後書き）

いかがでしたでしょうか。作者は不安ですが喜んで頂ければ幸いで  
す。次はバクテスの予定です。感想等お待ちしています。

## バカテスト 第8問（前書き）

バカテストがスランプです。アイディアが考えられなくなっています。  
では、バカテストスタート。

## バカテスト 第8問

問題 第八問 英語

問題 以下の問いに答えなさい。

「goodおよびbadの比較級と最上級をそれぞれ書きなさい。」

姫路瑞希・吉井明久・島田美波・平沢唯・秋山澪・琴吹紗・中野梓  
の答え

「good ? better ? best」

「bad ? worse ? worst」

教師のコメント

正解です。この調子で頑張って下さい。

田井中律の答え

「good ? gooder ? goodest」

「bad ? bader ? badest」

教師のコメント

まともな間違え方で先生驚いています。Goodやbadの比較級と最上級は語尾に -erや -estを付けるだけではダメです。覚

えておもましょ。」

土屋康太の答え

「bad ? butter ? bust」

教師のコメント

『悪い』『乳製品』『おっぱい』

木下秀吉の答え

「明久に英語を教えて貰つてラブ・ラブになる。」

教師のコメント

英語関係ないじゃないですか。吉井君指導の方頑張つて下さい。

## バカテスト 第8問（後書き）

次回はBクラスの前の作戦会議かな。 いつ更新かは未定です。 感想  
やバカテスト  
のアイディアお待ちしています。

## 第7話 試験戦争編 作戦会議（前書き）

今回は宣戦布告まで書をもした。最近書くスピードが遅くなつてゐる  
よつた気がします。

## 第7話 試験戦争編 作戦会議

現在補充テストが終わった。

明久 「終わったー。」

机に突つ伏す。

とりあえず全教科の補充が完了。流石に全教科受けると疲れるよ。

秀吉 「うむ、疲れたわね。」

そう言つて秀吉が答える。

今日の髪形はポニーテールだ。うう。僕のストライクゾーンをついてくるなんて……秀吉は美少女なのに……。

ムツツリー 「…………（コクコク）」

いつの間にかムツツリーもいた。

雄二 「よし、昼飯を食いに行こう！ 今日はラーメンとカツ丼と炒飯とカレーにつすかな」

明久 「雄二。僕はそのメニューの量の多さを指摘するのか、炭水化物ばかりなのかを指摘すればいいのか分からぬよ。」

勢いよく立ち上がる雄二。全然疲れを感じていないうつだ。どこかおかしい。昼食のメニューも含めて。

美波 「ん？ アキ達は食堂にいくの？ アキにお弁当作ってきたん  
だけどよかつたらどう？」

明久 「ぜひ！」馳走になります。」

ムツツリー 「…………（ノクノク）」

ムツツリーが頷いているのはト心のせんだろ？ 美波はモデル  
みたいな感じだからなあ。

美波 「アキ、なんかウチ褒められた感じがするんだけど？」

明久 「気のせいじゃない？」

女の勘は恐ろしい。

今は昼休みだ。

瑞希 「あ、あの。 誠さん……」

雄二 「どうした姫路？お前も来るのか？」

瑞希 「あ、いえ。 実はお昼なんですが明久くんと誠さんの分  
も作ってきたので一緒にいかがかと……」

明久 「お弁当？」

瑞希 「はい。 迷惑じやなかつたらどう？」

と、バッグを差し出す姫路さん。なんていい子なんだ！

明久 「迷惑なわけないよ。ねえ雄二。」

雄二 「ぜひこの馳走になろう。」

唯・澪・律・ムギ・梓 「私達もナイト（田那様）（アツキー）（明久様）（アキ様）にお弁当作つてきたから一緒に食べましょう」

「

秀吉 「私も明久のためにお弁当作つてきたから食べて（上田使二）」

明久 「僕一人じゃ食べきれないから皆で食べよう。」

雄二 「じゃ屋上でいいか？次の試召戦争の相談もあるからな。」

こうして屋上へ向かった。

明久 「皆のお弁当美味しそうだね雄二。」

雄二 「そうだな。明久。しかも全員明久のために作つてくれたんだからな。」

ムツツリー二 「殺したいほど妬ましい。」

明久 「まあまあ落ち着いてよ。ムツツリー二。」

雄二 「そだぞ。明久は主戦力なんだから困る。やるなら田井中にしておけ。」

律 「ちょっと待つて。坂本。私らしいの？」

雄二 「ああ。田井中ならいてもいなくとも変わらないからな。」

律 「止めるな澪。私は坂本を殴らないと気がすまない。」

澪 「落ち着け律。坂本なら冗談で言っているだけだ。」

律 「なんだ。ならないか。」

明久 「律の玉子焼き美味しいね。」

律 「やつた。アツキーに褒められた。」

雄二 「そうだな。田井中は馬鹿だが、料理は旨いな。」

律 「ちょっと坂本！ 酷くない！？」

雄二 「人間何か取り柄があるもんだ。」

明久 「二人とも落ち着いて。せつかくのお昼なんだから。」

雄二 「そうだな。明久。」

明久 「唯の酢豚も美味しいね。」

雄一 「確かに。皿いな。」

唯 「ナイトに美味しいって言われた。」

明久 「皆良いお嫁さんになれるよ。」こんなに料理が美味しいんだから。」

瑞希・美波・秀吉・唯・澪・律・ムギ・梓 「だつたら私をお嫁さんにして下さい。」

雄二 「良かつたな。明久。お嫁さんがこんなにいて。羨ましいぞ。」

明久 「そうだね。皆僕には勿体無いくらいの美人ばかりで料理も美味しいし。」

雄二 「おい明久。皆顔を真っ赤にして固まってるぞ。」

明久 「わあごめん。皆一いつ瞬帰ってきて。」

そんなこんなで昼食が終わつた後。

美波 「坂本。次の試召戦争なんだけど。次は何処なの?」

雄二 「次はBクラスだ。」

秀吉 「何故Bクラスなの?」

雄二 「Fクラスの戦力じゃAクラスに勝てないからだ。」

唯 「最終目標はBクラスに変更なの?」

雄二 「そんなことはない。Aクラスをやる。」

律 「坂本言つてることが矛盾してゐるわよ。」

雄二 「クラス単位では勝てないから一騎打ちにするつもりだ。そのためBクラスを使う。」

雄二 「とりあえず一騎打ちに関してはまたAクラス戦の時に話すとして、Bクラスをやる。」

雄二 「田井中下位クラスが負けたらどうなるか知つてゐるか?」

律 「知つてゐるよ。えへつと…」

明久 「設備を1ランク落とされるんだよ。AクラスならBクラスレベルといった具合に。」

雄二 「ちつ。その通りだ。なら上位クラスが負けた場合は?」

律 「悔しい。」

雄二 「ムツツリーー」「了解。」

ムツツリーー 「了解。」

律 「ベンチで私に何をする気なの?」

明久 「待つんだ。二人とも。冷静になるんだ。」

澪 「設備が入れ替わるんだよ。律。」

雄二 「Bクラスをやつたら、設備の入れ替えない代わりにAクラ

スに攻め込むよう交渉する。設備を入れ替えた後Fクラスだが、Aクラスに負けるだけならCクラス設備で済むからな。まずうまいくいぐ。

律 「それでどうするの？」

雄二 「それをネタにAクラスと交渉する。『Bクラスとの勝負直後に攻め込むぞ』といった具合にな」

律 「なるほどー！」

明久 「しかしAクラスは一騎打ちを受けてくれるの？こっちには僕に姫路さんに唯達がいるのに」

雄二 「その点は大丈夫だ。考えがあるからな。とにかくBクラスをやる。そのあとに細かいことは話すからな。」

雄二 「田井中。宣戦布告に行って来い。」

律 「断る。坂本が行けばいいじゃないか。」

明久 「雄二。僕が行くよ。Fクラスにいるのはばれてるだろうじ。」

「

雄二 「分かった。それなら明久に任せん。」

明久 「じゃあ行つて来る。」

こうして明久はBクラスへ向かつた。

明久がBクラスから帰つて來た。

明久 「ただいま雄一。今日の午後開戦と伝えて來たよ。」

雄一 「『』苦勞だつたな。明久。しかし殴られなかつたか？」

明久 「返り討ちにしたよ。全力の回し蹴りしたらその人机を捲き込みながら、倒れたのを見て話を聞いてくれたよ。」

この場にいる全員が恐怖を覚えた。

こつしてBクラス VS Fクラスの戦いが始まる。

## 第7話 試召戦争編 作戦会議（後書き）

次回はバカテスト？かな。でもバカテストが浮かばないので分かりません。

感想等お待ちしています。

## バカテスト 第9問（前書き）

気がついたらPV 300000越えでしたしユニーク4500越えでした。これからも頑張って行きますのでよろしくお願いします。

## バカテスト 第9問

問題 第九問

問題 以下の問いに答えなさい。

あなたの夢は何ですか？

吉井明久の答え

「悲しむ人のいない世界を作ること。」

教師の「メント

吉井君らしい答えですね。難しいとは思いますが、吉井君なら出来るような気がします。

霧島翔子の答え

「雄一のお嫁さん。」

教師の「メント

霧島さんは坂本君が好きなんですね。先生は応援してます。

木下秀吉・島田美波・姫路瑞希・清水美春・平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓の答え

「吉井明久の妻」

## 教師のコメント

吉井君後で職員室に来るよつよ。きつちり生徒指導しますから。決して羨ましいからではありません。

## 土屋康太の答え

「プシャアアアアア」（血液の痕）

## 教師のコメント

君は何を想像したのですか。

## バカテスト 第9問（後書き）

次回はBクラス戦ですね。 いつ投稿できるかは未定です。 感想等お待ちしています。

## 第8話 試合戦争編 Bクラス VS Eクラス 前編（前書き）

今回はやつてしまつた感が強いです。この意味は小説を読んでもらえれば解ると思います。では本編をどうぞ。

## 第8話 試召戦争編 Bクラス VS Eクラス 前編

雄二 「皆全科目のテスト」」苦労だった。」

教壇に立ち雄二が机に手をついてFクラスの皆を向いて言ひ。

さつき全科目のテストが終わり、昼食を取つた所である。

雄二 「午後はBクラスとの試召戦争だが、気合は充分か?」

モブ達 「おうー。」

モチベーションは維持したまま。点数が低いFクラスの唯一の利点だね。

雄二 「今回の戦闘は長引かせれば」」あらが不利になる。開戦直後は絶対に負けるわけにはいかない。」

モブ達 「おうー。」

雄二 「そこで部隊には姫路と明久と平沢と秋山と琴吹と中野のFクラス主戦力を投入し、今日中にBクラスと決着をつけたいと思ってる。」

瑞希 「頑張ります。」

明久 「了解。」

唯 「まかせてよ。」

澪 「頑張る。」

ムギ 「任せてちょうどいい。」

梓 「わかりました。」

女子と一緒に戦えるだけに皆の士気はMAXだ。

今回の廊下の戦闘は絶対に勝ちに行くらしく戦力は僕たちAクラス並だけでなくFクラスの大半をつき込むようだ。

### キーンコーンカーンコーン

昼休み終了の合図が鳴り、Bクラス戦が始まった。

雄一 「よし、行つて来い！目指すはAクラスの設備だ！」

モブ達 「了解だ！」

この戦いで重要なのは敵を蹴散らすことだ。明久達は全力でBクラスへと向かう廊下を駆け出した。

今回のFクラスの主力は理数系の科目だ。Bクラスは文系が多いことと数学の長谷川先生の召喚範囲が広いことからだ。物理の先生もいる。

モブ1 「いたぞ、Bクラスだ！」

モブ4 「高橋先生を連れているぞ！」

正面からBクラスのメンバーがくる。人数が20人程度と言うところを見ると僕を警戒しているようだ。

モブ8 「生かして帰すなー！」

物騒なセリフが聞こえたが、試召戦争が始まった。

Bクラス モブ1 VS Fクラス モブ13

総合科目 1943 点 VS 746点

Bクラス モブ4 VS Fクラス モブ2

数学 156点 VS 71点

Bクラスモブ5 VS Fクラス モブ8

物理 145点 VS 72点

FクラスとBクラスでは圧倒的な差があるから次々と戦士していく。

明久 「皆いくよ。」

瑞希・唯・澪・ムギ・梓「うん。」

明久・瑞希・唯・澪・ムギ・梓「試験召喚。」

明久達は召喚する。

Fクラス吉井明久&中野梓&平沢唯

総合 9801点&4801点&2065点

Fクラス秋山澪&琴吹紬

物理 455点&412点

Fクラス 姫路瑞希

数学 555点

Bモブ4 「なんなんだ吉井の点数！？」

Bモブ1 「本当にFクラスなのか！？」

Bモブ3 「皆総合科目の方に来てくれ。」

Bモブ達 「了解」

皆の点数にBクラスが動搖する。

明久 「腕輪発動」

Bモブ達 「召喚獣が動かない。」

明久 「今のうちに倒すよ。唯、梓。」

唯 「うん。ナイトやるね。」

梓 「分かりました。アキ様。」

総合科目内の敵12人を3人で一撃で倒した。

Bモブ0 「おい。総合科目のやつら全員戦死してるぞ。」

Bモブ9 「俺達で勝てるのか?」

相手は戦意喪失したようだ。

瑞希 「行きます。熱戦。」

岩下 「真由美避けて。」

菊入 「そんなこと言つても無理。」

二人の召喚獣が炎に包まれて戦死したようだ。

澪達も戦死させたようだ。

明久 「このまま代表を倒すよ。皆いい?」

根本 「待つてくれ。吉井」

明久 「根本君!=?何を待てといふんだい?」

根本 「Bクラスは降伏する。」

Bモブ達 「何を言つてるんだ!=?代表。」

根本 「正直にいってBクラスはこのままでは負ける。お前達を戦死させるわけには行かないんだ。代表としてクラスメイト達に不利益があつてはならない。解つてくれ。」

明久 「解つた。皆攻撃をやめるんだ。先生戦争終結の合図をお願いします。」

教師 「戦争終結。勝者Fクラス」

「うしてBクラスとの戦争は終わった。

## 第8話 試召戦争編 Bクラス VS Eクラス 前編（後書き）

いかがでしたでしょうか？根本が原作と違い良いやつになってしましました。皆様の反応が怖いです。次回は未定です。

## バカテスト 第10問（前書き）

スランプです。アイデイアがまったく出てこない。どうしましょう。やつて欲しいイベントなどがありましたら感想又はメッセージ送信でお知らせ下さい。できるだけ要望はお聞きします。ではバカテストどうぞ。

## バカテスト 第10問

問題 第十問

問題 以下の問いに答えなさい。

あなたの知りたいことは何ですか？

霧島翔子の答え

「雄一の好みのタイプ」

教師の「メント

霧島さんと坂本君は幼馴染ですね。坂本君を先生は羨ましいと思います。

木下秀吉・島田美波・姫路瑞希・清水美春・平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬・中野梓の答え

「吉井明久の好みのタイプ」

教師の「メント

吉井君。世の中は不公平ですね（泣）

坂本雄一の答え

「幼馴染の誤解を解く方法」

## 教師のコメント

坂本君。先生は誤解ではないと思いまますよ。

## バカテスト 第10問（後書き）

明久の答えが思いつきませんでした。次回はBクラスの戦後対談を書きたいとは思いますが、いつ更新かは未定です。

## 第9話 試合戦争編 Bクラス VS Eクラス 後編（前書き）

だいぶ遅くなってしましましたが、書きあがりましたので投稿します。

## 第9話 試合戦争編 Bクラス VS Fクラス 後編

雄二 「それじゃ 戦後対談を始めるか。 Bクラス代表?」

根本 「設備を交換するんだろ?」

雄二 「本当なら俺達はBクラス設備を、お前らにはFクラスの設備にする所だが、条件次第では設備交換はしなくてもいい。」

雄二の発言で、Bクラス、Fクラスの生徒が騒ぎだした。

雄二 「落ち着け皆。俺達の目標はAクラスだ。ここで終わらじやない。」

明久 「あくまで途中でしかないということだよ。ね? 雄二」

雄二 「ああ。だから、Bクラスが条件を呑めば免除してやるうと思つ。」

明久の説明もあり、Fクラスのメンバーは雄二の性格を理解し、納得した。

Bクラスも3ヶ月間Fクラスのボロボロの設備から回避できるかもしれない、雄二に視線が集まる。

根本 「……条件はなんだ?」

雄二 「条件? それはお前だよ、Bクラス代表。」

根本 「俺?」

雄二 「取引だ。Aクラスに行つて、戦争の意思と準備があるとだけ伝えるんだ」

根本 「……それだけでいいのか?」

雄二 「ああそれだけでいい。それさえしてくれれば設備について見逃そつ。」

根本 「他はなんだ?」

雄二 「3ヶ月間Fクラスの駒になつてもうひとつ。無茶な要求はしないつもりだ。嫌なら設備交換だ。この条件を飲むなら和平交渉で結にする。まあ選んでくれ。」

雄一の言葉に根本君は真剣な表情で考えているようだ。

根本 「分かつた。その条件を飲もう。坂本。Bクラスの皆も良いよな?」

Bモブ達 「おう。」

「うじてBクラス戦は終了した。

雄二 「来週Aクラスに宣戦布告する。土田はしつかり休んでくれ。以上解散。」

こうしてFクラスの人たちは帰りだした。（一部を除いて）

唯 「じゃあナイトデートに行こうか。」

澪・律・ムギ・梓・秀吉・瑞希・美波 「わよつと待つた。」

唯 「何?」

澪・律・ムギ・梓・秀吉・瑞希・美波 「何で唯(唯ひやん)(平沢さん)(平沢)だけデートするの!?」

唯 「この間約束したからだよ。みなみんはデートしたでしょ。だから私の番だよ。」

澪・律・ムギ・梓・秀吉・瑞希 「確かに。でも唯(唯ひやん)(平沢さん)の番ってわけじゃないでしょ。」

唯 「それじゃあナイトに決めてもらおう。」

明久 「僕!/?その前に僕は今日出かけるなんて一言も言つてないよ!/?」

唯 「早く決めてよ。ナイト」

作者 「唯と梓でデートをしる。」

明久 「なんか作者の声が聞こえた気がするなあ。じゃあ平沢さんと中野さんで。」

唯・梓 「やつたー。」

澪・律・ムギ・秀吉・瑞希 「そんなあー(泣)」

明久 「また別の機会に一緒に行くから。ね?」

澪・律・ムギ・秀吉・瑞希 「分かりました。」

明久 「じゃあ来週学校で。行くよ。唯に梓。」

唯 「今行くよ。」

梓 「はいです。」

こいつして明久達は『デート』に向かつた。

明久 「何処に行く?」

唯 「パフェが食べたいなあ。」

梓 「それなら駅前のラ・ペディスにしませんか。学生に人気がありますよ。」

唯 「早く行こうよナイト、あづにゃん。」

こうして明久達はラ・ペディスに向かつた。あの人の家とは知らずに。

店員 「いらっしゃいませ。何名様ですか?」

明久 「3人です。」

店員 「ではこちらの席になります。』注文がきまりましたらお呼

び下さい。」

明久 「2人は何にする?..」

唯 「私はイチゴパフェと紅茶にする。」

梓 「バナナパフェと紅茶にするです。」

明久 「すいません。注文いいですか。」

店員? 「はい。今行きますわ。」

店員? 「『』注文お決まりで…お兄様!-?」

明久 「美春何でここにいるの-?」

美春 「ここは美春の家ですわ。お兄様デートするなとは言いませんが、美春も誘つて下さいよ!-?」

明久 「この間誘つたからいいかなあと思つて。」

美春 「お兄様とだつたら毎日デートしたいんですよ。」

明久 「『めん』めん。今度から気をつけるよ。注文良い?」

美春 「良いですよ。お兄様会計は私が持ちますから私もここで一緒に食べます。」

明久 「それじゃ悪いよ。美春。」

美春 「良いんです。お兄様には映画代を出して頂きましたから。  
注文をどうぞ。」

明久 「バナナパフH1つといちじゅうパフH1つとチョコパフH1つ  
と紅茶2つとコーヒーを1つでお願いします。」

美春 「分かりましたわ。少々お待ちを。」

唯 「ねえあずにゃん。今更だけナイトの人気はすごいね。」

梓 「そうですね。私達も頑張らないと。」

二人が小声で話しているようだ。

明久 「何話してるので二人で。」

唯・梓 「何でもありません。」

美春 「お待ちどうさまですわ。さあ皆で食べましょ。」

明久・美春・唯・梓 「いただきます。」

美春 「お兄様、あーん。」

明久 「ちょっと美春！？それは恥ずかしいよ。」

美春 「良いんです。美春とお兄様は愛し合っているんですから。」

唯・梓 「ちょっと待った！！私達もやる（やります）。」

明久 「ちょっと待つてよ！？それはそれで大変なことなんだよ。」

美春・唯・梓 「あーん」

明久 「ちょっと恥ずかしいよ」

美春・唯・梓 「いいから食べて下さー」。

明久 「うん。」

顔を真っ赤にして明久は食べた。

そんなこんなで時間が過ぎていった。

明久 「じゃ来週学校でね。」

美春・唯・梓 「やようなら。」

こうして明久が美春達と別れて家に帰ろうとしたらある光景が目に  
入った。

不良 「おい俺と付き合へよお姉ちゃん。」

？？？ 「いいえ。家に帰らないと。」

不良 「そんなこといいから付き合へよ。」

不良が女の子を連れ去るとするが…

明久 「おい。やめろよ。女の子が嫌がってるじゃないか。」

不良 「うつせえな。痛い目に…」

バツキと言ひ音が響いた。明久が電柱に穴を貫通させた音である。  
それを見た不良は…

不良 「すいませんでしたー。」

物凄いダッシュで不良が逃げつていつた。

明久 「大丈夫?」

愛子 「ありがとうございます。その制服は文月学園のですよね。」

明久 「僕の名前は吉井明久。」

愛子 「僕の名前は工藤愛子です。よろしくね。」

明久 「じゃ工藤さん気をつけて帰つてね。さよなら。」

こうして明久と別れた愛子は…

愛子 「吉井明久くんかあ…なんだか好きになっちゃったよ。」

明久は知らない。1人の女の子を惚れさせてしまったことを…

## 第9話 試召戦争編 Bクラス VS Eクラス 後編（後書き）

いかがでしたでしょうか。愛子とのフラグというリクエストがあつたので書いてみましたが、正直不安です。感想等お待ちしています。

## バカテスト 第11問（前書き）

バカテスト更新。だけどスランプは未だに続いているみたいで…

## バカテスト 第1-1問

問題 第十一問

問題 以下の問いに答えなさい。

あなたは大好きな彼とふたりきりの旅行の時、忘れ物に気がつきました。

さて、あなたは何を忘れたのでしょうか？

姫路瑞希の答え

「頭痛薬や胃薬などの医薬品」

教師のコメント

これは、あなたが何を求めているかのテストです。

姫路さんは矢張りそれを求めているようですね。

霧島翔子の答え

「雄一との婚姻届」

教師のコメント

忘れ物の前に持つて行こうとする時点で間違っています。

## 工藤愛子の答え

「下着を穿いていく」と

## 教師のコメント

あなたは好きな人に何を求めているのですか。

## 琴吹紬の答え

「コンドーム」

## 教師のコメント

まさか工藤さんみたいな答えを書く人がまだいたとは…

## 木下秀吉の答え

「手作りのお弁当」

## 教師のコメント

普通な答えで先生は安心しました。

## 木下優子の答え

「セクシーな下着」

## 教師のコメント

木下さんどうしたのですか！？あの優等生な木下さんから想像できない答えです（汗）

## バカテスト 第11問（後書き）

次回はAクラスとの交渉かな？書きあがつてないから分かりません。

第10話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 交渉編（前書き）

今回は意外と書けました。バカテストの問題がない…誰か問題を下さい。

## 第10話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 交渉編

Aクラスに試験召喚戦争を仕掛ける時が来た。

雄一 「まずは全員に礼を言いたい。周りには不可能だと言われていたにも関わらずここまで来れたのは、他でもない全員の協力があったことだ。感謝している」

雄一が全員に礼をいっている。

律 「坂本どうしたの？」「しづかによ？」

雄一 「ああ、自分でもさう思つ。だが、これは偽らざる俺の気持ちだ。」

確かにFクラスがAクラスに仕掛けるまで来たというのは誰も予想してないと思つ。

雄一 「ここが最後だ。絶対にAクラスに勝つ。勝つて、生き残るには勉強だけが全てじゃないという現実を、教師に見せるんだ！！」

雄一が言った瞬間クラスから歓声の声があがる。

モブ1 「やうだぜーっ！」

モブ3 「勉強だけじゃねーっ！」

モブ5 「うおーっ！」

雄二 「皆ありがとうございます。そして残るAクラス戦だが、これは一騎討ちで決着をつけたいと考えている。」

モブ2 「どういふ事だ?」

モブ4 「誰と誰が一騎打ちするんだ?」

モブ1 「本当に勝てるのか?」

雄二 「落ち着いてくれ。それを今から説明する」

雄二が言つと、クラスが静まる。クラスを勝利に導いたことで、代表として、信頼を得ていた。

雄二 「やるのは、俺と翔子だ」

律 「バカの坂本が勝てる訳ない…………」

ヒュツ！（カッターが律に向けて投げられた音）

ガツ！（投げられたカッターを明久がつかむ音）

雄二 「明久、邪魔をするな」

明久 「危ないでしょ。説明を速くしてよ。」

律も言い過ぎだよ。

雄二 「……まあ、その通りだ。まともにやり合っても勝ち目は五分五分だ。でもDクラス戦もBクラス戦も同じだつただろう?まとも

にやり合えば俺たちに勝ち田はなかつた。

俺は翔子に勝ち、FクラスはAクラスの設備を手に入れる。俺達の勝ちは揺るがない……俺を信じてくれ。神童と言われた力を、皆さん見せる！」

モブ達 「おおお―――つ――」

信頼の証として、男子全員が叫びを上げた。

「でも、どうやって勝つの？」霧島さんは強いよ？」

雄一「まあ、田井中の言う通り確かに翔子は強い。まともにやりあえば勝ち田は五分五分だが、絶対に勝てる方法がある。」

雄一「方法は、教科を指定するつもりだ。」

梓 一何の教科でやるんですか?

雄二「日本史だ。内容は小学生レベル、方式は100点満点の上限あり。純粋な点数勝負とする。」

試験召喚戦争は、テストの点で勝敗を決する物である。だからこそ、テストの点を用いた勝負であれば、方法次第では採用される。

「小学生程度のレベルで満点ありますか。」

明久 「それだと満点が前提となつて、ミスした方が負ける注意力勝負になるよ。」

律 「同点だつたら、延長戦だよ？そくなつたら問題のレベルも上げられちやうし、雄一には厳しくない？」

明久 「確かに律の言つとおりだよ。」

雄二 「おいおい、あまり俺を舐めるなよ？幾らなんでも、そこまで運に頼り切つたやり方を作戦にはしない。」

何か弱点でも知つてゐるのかな？

明久 「？それなら、霧島さんの注意力を乱す方法を知つてゐるの？」

雄一 「いいや。翔子なら集中なんてしなくとも、小学生レベルのテスト程度なら何の問題もないだつ。」

そうなんだ。さすがは霧島さんだね。

明久 「雄一。あまりもつたいぶるないでよ。そろそろタネを明かしてよ？」

クラスの皆も明久の言葉にうなずいている。

雄一 「すまない。つい前置きが長くなつた

ついに雄一の策が明らかになる。

雄一 「俺がこのやり方を探つた理由は一つ。ある問題が出れば、翔子は確実に間違えると知つてゐるからだ。」

ある問題つて何？

雄二 「その問題は…………大化の革新。」

澪 「大化の革新で小学生レベルと言つたら…………年号を答えるの？」

答えは645年だね。でもこんな簡単な問題間違えるの？

雄一 「秋山の言つとおりだ、その問題を翔子が間違えるのは確實だ。だからその問題が出たら俺達の勝ちだ！」この設備とひりょうならと言つことだ！」

瑞希 「あの、坂本君」

雄二 「ん？ なんだ姫路」

。瑞希 「気になつてたんですが、霧島さんとは、その…………仲が良いんですか？」

雄一 「ああ。俺と翔子は幼馴染だ」

モブ2 「総員、狙えええ！！」

モブ2の指示により雄一に上履きが構えられる。

雄一 「なつ！？何故モブ2の指示で急に構える！？」

モブ3 「黙れ男の敵！Aクラスの前に貴様を殺す！！」

雄一 「俺が何をした！？」

雄二の幼馴染という言葉だけで、クラスが一気にバラバラに。

モブ2 「待て！モブ7。靴下はまだ早い。それは押さえつけた後で口に押し込むものだ。」

モブ2 「了解です会長…」

なんて団結力なんだ……

梓 「みんな止めてよ！今はクラス内で争ってる場合じゃないでしょ！」

「すんませんした！…」

梓の一言でクラスが一瞬で元の状態を取り戻した。

雄二 「ふう…助かったぞ中野」

梓「坂本くんに倒れられたら困るから」

雄二「あ、ああ、すまん。」

雄二 「とにかく、俺と翔子は幼馴染で、小さい頃間違えてウソを教えたんだ」

律 「それが、大化の革新なの？」

雄二 「そうだ。アイツは一度覚えた事は、決して忘れない。俺はそれを利用し、翔子に勝つ！そうしたら俺達の机は……」

モブ達 「システムデスクだ！」

そして再びやる気が最高までに高まる。

優子 「一騎討ち？」

「そのとおりだ。Fクラスは試合戦争として、Aクラス代表に一騎討ちを申し込む」

所変わつてAクラス。雄一、明久、秀吉、康太、唯、美波、姫路、凌、ムギ、梓、律で宣戦布告に来ていた。

優子 「うーん、何が狙いなの？」

雄一と交渉しているのは霧島さんではなく、秀吉のお姉さん、木下優子さんだ。

雄一 「もちろん俺達Fクラスの勝利が狙いだ。」

優子 「面倒な試合戦争を手軽に終わらせることができるのはありがたいけどね、だからと言ってわざわざリスクを冒す必要も無いかな。」

雄一 「賢明だな。ところでBクラスとやりあつ氣はあるか？」

「Bクラスつて……、まさか……」

優子 「でも、BクラスはFクラスと戦争したから、三ヶ月の準備

期間を取らない限り試召戦争はできないはずだよね?」

雄二 「知っているだろ? 実情はどうあれ、対外的にはあの戦争はく和平交渉にて終結ってなつてていることを。規約にはなんの問題もない。……Bクラスだけじゃなくて、Dクラスもな」

優子 「……それって脅迫かな?」

雄二 「人聞きが悪い。ただのお願いだよ」

優子 「……わかつたわよ。何を企んでいるのか知らないけど、代表が負けるなんてありえないからね。その提案受けるわ。」

優子 「こちらからも提案。代表同士の一騎討ちじゃなくてそうだね、お互い5人ずつ選んで、一騎討ち7回で4回勝った方の勝ち、っていうなら受けてもいいわ。」

雄二 「なるほど。こちらから明久や姫路や中野が出てくる可能性を警戒しているんだな?」

優子 「うん。明久君が出てきたら絶対に勝てないし、代表が調子悪くて姫路さんや中野さんが絶好調だったら、問題次第では万が一があるかも知れないから。」

雄二 「安心してくれ。うちからは俺が出る。」

優子 「無理よ。その言葉を鵜呑みにはできないよ。これは競争じやなくて戦争だからね。」

雄二 「そうか。それなら、その条件を呑んでも良い」

優子 「ホント? 嬉しいな」

雄二 「勝負する内容は」ひらりで決めさせて貰う。その位のハンデ  
はあってもいいはずだ。」

優子 「え? うーん……」

翔子 「……受けてもいい」

翔子 「……雄二の提案を受けてもいい」

優子 「あれ? 代表。いいの?」

翔子 「……その代わり、条件がある」

雄二 「条件?」

翔子 「……負けたほうは何でも一つ言つひととを聞く。」

優子 「ちょっと待つて。代表。一つにしてもらえないかしら。」

翔子 「分かった。じゃあ一つで。」

ムツツリー 「…………（カチヤカチヤ）」

明久 「ムツツリー、何で撮影の準備してるの! 負ける気じゃないか!」

優子 「いっしょに、勝負内容は一つの内4つはFクラスに

決めさせてあげる。三つは△クラスで決めさせて？」

雄二 「交渉成立だな」

翔子 「……勝負はいつ？」

雄二 「さうだな。10時くらいでいいか？」

翔子 「……わかった」

雄二 「よし。交渉は成立だ。教室に戻るが。」「そして僕達はFクラスに帰った。

## 第10話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 交渉編（後書き）

お願いを2つにした理由、感の良い人なら分かりますよね？そうです。明久とあの人達に“デートして貰おうか迷っているのです。感想等お待ちしています。

## バカテスト 第1-2問

問題 第十一問 日本史

問題 以下の問い合わせに答えなさい。

「（　）年 キリスト教伝来」

霧島翔子の答え

1549

教師のコメント

正解です。特にコメントはありません

田井中律の答え

「雪の降りつもる中、アッキーに暖められた1993」

教師のコメント

自分の願望をいれた上に間違いです。

木下秀吉の答え

「明久とのデートをしたい1549」

## 教師の「メント

答えは正解ですが、自分の願望をいれないで下さい。

島田美波

「アキに力強く抱きしめられた温もりを忘れない。」

## 教師の「メント

年号じこもないじゃないですか。

## バカテスト 第1・2問（後書き）

次回はAクラスとの戦闘になります。感想等お待ちしています。

第1-1話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 1回戦（前書き）

Aクラス戦は小出しにしておきます。

## 第11話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 1回戦

高橋 「では、両陣営とも準備は良いですか?」

Aクラスの担任で、学年主任の高橋教諭が立会人となり、Aクラスで、Aクラス VS Fクラスの試召戦争は始まった。

雄二 「問題ない。」

翔子 「……大丈夫。」

高橋 「それでは一人目の方、前へ。」

優子 「アタシから行くわ。」

唯 「私が行くよ。科目は英語でお願いします。」

高橋 「それでは第1回戦を開始します。」

高橋教諭の言葉と同時に英語の召喚フィールドが張られた。

唯・優子 「試験召喚!…」

Aクラス木下 優子 英語 382点 VS Fクラス平沢 唯  
英語 563点

Aモブ達「何だと!…! Fクラスの癖になんてあんなに点数が高いんだよ!…」

唯 「英語は私の得意科目なんだよ、それでもいつもは500点ぐらい何だけど、ナイトのために頑張つたんだよ」

モブ達 「うおおおおお。」

唯 「腕輪発動。プロミネンス。点数を100点消費して敵を燃やしえます。」

優子 「あやあー。」

Aクラス木下 優子 英語 0点 VS Fクラス平沢 唯 英語  
463点

優子の召喚獣が黒焦げになっていた。

高橋先生もAクラスが負けたことに驚いているようだ。

高橋 「勝者Fクラス平沢唯。」

唯 「私の勝ちだよ。」

優子 「負けたわ。でも次は負けないわ。」

唯 「こいつはだって負けないよ。」

こうして1回戦はFクラスが勝利した。

第1-1話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 1回戦（後書き）

みなさんに質問です。Fクラスを圧勝させても問題ないですかね？  
感想等お待ちしています。

## バカテスト 第1-3問（前書き）

PV 68000、ユニーク100000越えということで作者はびつくりしています。これからも頑張っていきますのでよろしくお願いします。

## バカテスト 第1-3問

問題 第十三問 化学

問題 以下の問いに答えなさい。

「ハーバー法と呼ばれる方法にてアンモニアを生成する場合、用いられる材料は塩化アンモニウムと（ ）である。」

姫路瑞希・吉井明久・中野梓の答え

「水酸化カルシウム」

教師のコメント

正解です。アンモニアを生成するハーバー法は工業的にも重要な内容なので、確実に覚えておくと良いでしょう。

土屋康太の答え

「塩化吸収材」

教師のコメント

勝手に便利な物質を作らないで下さい。

田井中律の答え

「アンモニア」

教師のコメント

それは反則ですね。

木下秀吉の答え

「明久を愛する志」

教師のコメント

吉井君の将来が心配です。大丈夫でしょうか？

## バカテスト 第1-3問（後書き）

さて、Aクラス戦の後に『テートセヨウ』かと思つのですが、『愛子』と『優子』と秀吉で問題ありませんかね？感想のついでにお答え頂くとうれしいです。

オリキャラ 1（前書き）

龍夜Mk2様から頂きましたオリキャラです

## オリキヤラ 1

名前：神崎 弥生  
かんざき やよい

誕生日：12/24

性別：女性

身長：157cm

BWH：B89(D) / W57 / H86

一人称：私

明久の呼び方：天使様  
アキヒサ

好きなもの／趣味：明久・家事全般・水泳・新体操・勉強・読書・  
占い

嫌いなもの：喧嘩・変態（FFF団・常夏・根本・久保）

容姿：『ガンダムX』の『ティファ・アディール』似で『スタイル』

のみ『モデル』体系

性格：無口で人見知りする傾向があるが、明久のことのみ凄く大胆な行動を起こす。

また実家は霧島と同じレベルの財閥。しかも財閥の会長の一人娘で、財閥令嬢。

ちなみに素性を知っているのは、同じ財閥令嬢の霧島と学園長、高橋教諭、西村教諭の4人のみ

所属：2-A

学力：姫路レベル

得意科目 全科目700点以上

苦手科目 なし

・召喚獣

通常時

服装：バーニガール（白）の上に『ガンダムX』風の鎧を装着  
アーマー

武装：『ガンダムXディバイダー』の『盾』と『銃』を装備  
ディバイダー ピームマシンガン アーマー

腕輪：万能鎧  
オールレンジ・アーマー

服装の鎧以下に変化

消費：100点

基本（現国・古典）：ガンダムX

社系（日本史・世界史・現社）：ガンダムエアマスター

理数（数学・物理・化学）：ガンダムレオパルド

英語・保健体育：ガンダムXディバイダー

総合：ガンダムダブルX

オカルト時：サキュバス

## オリキャラ 1（後書き）

作者はこのキャラの原作を知らないので、物語を進めていく上で、矛盾があつてもお許し下さい。龍夜Mk2様ありがとうございました。

## オリキャラ 2（前書き）

龍夜Mk2様からオリキャラを頂きました。

## オリキヤラ 2

名前：河本 さつき（かわもと さつき）

誕生日：9 / 14

性別：女性

身長：154cm

BWH：B83（B）／W50／H82

一人称：私

明久の呼び方：あきひさ王子様

好きなもの／趣味：明久・家事全般・水泳・新体操・勉強・読書  
嫌いなもの：喧嘩・変態（FFF団・常夏・根本・久保）

容姿：『ジンキ・エクステンド』の『川本 さつき』似だが、身長  
が10cmUP、スリーサイズの関係がバストが『A』ではなく『  
C』に近い『Bカップ』に

性格：基本、大人しく引っ込み思案な性格だが、いざ決断すると大  
胆で思いきりのいい行動を見せる。また好きな明久の事になると一  
途な乙女に変わる。

両親が厳しかったため、家事全般は得意で特に『料理』や『洗濯』  
などの家事関係は、かなりの腕前

所属：2 - A

得意科目 英語以外（600点以上）  
苦手科目 英語（400点前後）

・召喚獣

服装：メイドの上に『ナナツーライト』風の鎧を装着

武装：ハンドガンを2丁装備

腕輪：矛盾：服装の鎧以下に変化

消費：100点

基本（現国・古典・日本史・世界史・現社）：ナナツーライト  
理数（数学・物理・化学）英語・保健体育・ナナツーマイルド

総合：モリビト2号（飛行ユニット装備型）  
オカルト時：サキュバス

## オリキャラ 2（後書き）

作者はこのキャラの原作を知らないので、物語を進めていく上で、矛盾があつてもお許し下さい。龍夜Mk2様ありがとうございました。

## Fクラス女子設定（バカテス side）

name : 姫路瑞希  
ひめじ めずき

誕生日 : 12 / 21

性別 : 女性

身長 : 152 cm

BWH : B100 (F) / W60 / H96

一人称 : 私

明久の呼び方 : 明久君

好きなもの / 趣味 : 明久・家事全般・編み物・勉強・読書  
嫌いなもの : 喧嘩・虫類・怖いもの

召喚獣

原作の装備で剣の長さが伸び、防具の強度がUPした。

性格は原作のままで、明久に対して、暴力を振るわない。料理の腕が絶品料理を作ることに変更。

name : 島田 美波  
しまだ みなみ

誕生日 : 10 / 10

性別 : 女性

身長 : 156 cm

BWH : B75 (A) / W54 / H76

一人称 : ウチ

明久の呼び方 : アキ

好きなもの / 趣味 : 明久・家事全般・可愛いぬいぐるみ  
嫌いなもの : 喧嘩・虫類・怖いもの

召喚獣

原作のままの装備。

性格は原作のままで、明久に対して、照れ隠しをしない。明久に対して暴力を振るわない。

name : 木下 秀吉  
きのした ひでよし

誕生日 : 10 / 10

性別 : 女性

身長 : 154 cm

BWH : B88 (D) / W49 / H87

一人称 : 私

明久の呼び方 : アキヒサ

好きなもの / 趣味 : 明久・家事全般・演技

嫌いなもの : 喧嘩・虫類・怖いもの

召喚獣

原作のままの装備。

性格は原作のままで、明久に対しても乙女的に迫る。

Fクラス女子設定（バカテス side）（後書き）

次回はけいおんの5人を書きたいと思っています。

## Fクラス女子設定（けいおんside）

name：平沢 唯  
ひらさわ ゆい

誕生日：11/27

性別が：女性

身長：156cm

BWH：B92（E）/W56/H94

一人称：私

明久の呼び方：ナイト

好きなもの／趣味：明久・甘いもの・可愛い物

嫌いなもの：喧嘩・虫類・怖い物・変態・常識がない人

name：秋山 露  
あきやま ゆあ

誕生日：10/10

性別：女性

身長：160cm

BWH：B100（F）/W59/H97

一人称：私

明久の呼び方：旦那様

好きなもの／趣味：明久・料理・可愛いぬいぐるみ

嫌いなもの：喧嘩・虫類・怖いもの

name：田井中 律  
たいなか りつ

誕生日：8/21

性別：女性

身長：154cm

BWH：B82（A）/W54/H76

一人称：私

明久の呼び方：アツキー

好きなもの／趣味：明久・料理・怖い話

嫌いなもの：喧嘩・虫類・明久をないがしろにする人

name：琴吹 ことぶき

紬 つむぎ

誕生日：7 / 2

性別：女性

身長：157 cm

BWH : B92 (E) / W55 / H93

一人称：私

明久の呼び方：明久様

好きなもの／趣味：明久・明久と過ごす時間

嫌いなもの：なし

召喚獣

原作のままの装備。

性格は原作のままで、明久に対しても乙女的に迫る。

name：中野梓 なかの あずさ

誕生日：11 / 11

性別：女性

身長：150 cm

BWH : B88 (D) / W50 / H88

一人称：私

明久の呼び方：アキ様

好きなもの／趣味：明久・料理・可愛い服をきること

嫌いなもの：喧嘩・虫類

## Fクラス女子設定（けいおんside）（後書き）

唯達や明久達の召喚獣の装備の案を募集します。なかなか考えるのが難しいですね。次回はAクラス戦を進めていこうと思います。

第1-2話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 2回戦（前書き）

しばらくぶりに本編を更新しました。遅れて大変申し訳ありませんでした。

第1-2話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 2回戦

高橋 「では2回戦を始めます。次の人は前へ出て下へ。」

佐藤 「私が出ます。科目は物理でお願いします。」

Aクラスからは佐藤美穂。Fクラスからは、

雄一 「よし。頼んだぞ。秋山」

澪 「え? 私?」

雄一 「大丈夫だ。お前の得意科目なんだから全力でいって来い。」

澪 「負けても怒らない?」

雄一 「怒らないから、戦つて来い。」

澪 「いって来る。」

佐藤 「秋山さん? あなた、まさか…」

澪の相手の佐藤さんが戦きます。

澪 「あれ、気がづいた?」<sup>名答</sup>私は得意科目でもあるのよ。」

佐藤 「それじゃ、あなたは…」

澪 「そうよ。あなたの想像通り私は腕輪持ちよ。」

Fクラス 秋山 霽 VS Aクラス 佐藤 美穂

物理 462点 VS 389点

一瞬で決着がついた。

澪 「腕輪発動。強撃乱射。」

澪が腕輪を発動したら『』の攻撃が全て相手に命中し、相手を戦死させた。

Fクラス 秋山 霽 VS Aクラス 佐藤 美穂

物理 432点 VS 0点

こうして2回戦はFクラスの勝利で終わった。

第1-2話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 2回戦（後書き）

短くて申し訳ありません。戦闘描写が難しい（汗）次回は…バカテ  
ストかな？でもネタが思いつかないので更新は遅くなると思います。

## バカテスト 第1~4問（前書き）

バカテストのアイディアが尽きてきた。せひしおりと悩んでいます。

## バカテスト 第14問

問題 第十四問 化学

問題 以下の問い合わせに答えなさい。

「ベンゼンの化学式を答えなさい。」

吉井明久・姫路瑞希・平沢唯・秋山澪・琴吹紬・中野梓の答え

「C<sub>6</sub>H<sub>6</sub>」

教師のコメント

Aクラス並の君達には簡単でしたかね。

土屋康太の答え

『ベン+ゼン=ベンゼン』

教師のコメント

君は化学を舐めていますね。

田井中律の答え

『B-E-N-N-E-N』

教師のコメント

後で土屋君と一緒に職員室に来なさい。

## 木下秀吉の簽え

「明久との“トート… 楽しみです。」

## 教師のコメント

テストに集中して下さい。吉井君の道徳の点数は - にしておきます。

吉井君は後で職員室に来て下さい。

## バカテスト 第14問（後書き）

次回はAクラス戦で保健体育勝負？を予定しています。感想等お待ちしています。

## オリキヤラ 3

名前：姫神 美夜

誕生日：12/24

性別：女性

身長：158cm

BWH：B83（D）／W55／H83

一人称：私

明久の呼び方：主様

好きなもの／趣味：明久・家事全般・水泳・新体操・勉強・読書・

武術全般

嫌いなもの：下品な人（FFF団や雄一）・変態（根本、久保）・  
ニユルニユルした軟体生物

容姿：『TOLOVEる』の『金色の闇（大人版）』そのものだが、  
『スタイル（身長・3サイズ）』のみ『同じ作品（TOLOVEる）  
』の『ルン』と同じ体系

性格：極度の人見知りする傾向があり、根は穏やかで純情。明久の  
ことのみ凄く大胆な行動を起こす。

所属：2-A

学力：姫路レベル

得意科目 全科目700点以上

苦手科目 なし

・召喚獣

服装：『TOLOVEる』の『金色の闇』そのもの

武装：刀と苦無×10を装備

腕輪：变身：服装と武装が変化する

消費：100点

現国・古典・英語：巫女服で武装は薙刀

日本史・世界史・現社：メイド服で、武装は狙撃銃

数学・物理・化学：バーー服で武装は投げナイフ

保健体育：ナース服で武装はガトリング砲

総合：『ブラックキャット』の『イヴ』の服装（ゴスロリ風）に、

武装は野太刀×1

オカルト時：サキュバス

## オリキャラ 3（後書き）

作者はこのキャラの原作を知らないので、物語を進めていく上で、矛盾があつてもお許し下さい。龍夜Mk2様ありがとうございました。

## オリキャラ 4（前書き）

龍夜Mk2様からオリキャラを頂きました。

## オリキヤラ 4

名前：天宮 翼

誕生日：12/25

性別：女性

身長：167cm

BWH：B85（D）/W60/H86

一人称：私

明久の呼び方：ご主人様

好きなもの／趣味：明久・家事全般・水泳・新体操・勉強・読書  
嫌いなもの：喧嘩・下品な人（FFF団や雄二）・変態（根本、久保）

容姿：『GUILTY GEAR X』の『デイズイー』そのもの

\*翼と尻尾は存在しません

性格：極度の人見知りで、根は穏やかで純情で人を傷つけることを好まない優しい性格の持ち主。明久のことのみ凄く大胆な行動を起こす。

所属：2-A

学力：姫路レベル

得意科目 全科目700点以上

苦手科目 なし

・召喚獣

服装：『GUILTY GEAR X』の『デイズイー』そのもの

武装：弓矢

腕輪：天災

消費：100点

竜巻・稲妻・地割れ・溶岩噴火・吹雪なども『自然災害』がランダムで起こる。

オカルト時：天使

## オリキャラ 4（後書き）

作者はこのキャラの原作を知らないので、物語を進めていく上で、矛盾があつてもお許し下さい。龍夜Mk2様ありがとうございました。

第1-3話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 3回戦（前書き）

今回は保健体育対決です。この方は強い（笑）

第1-3話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 3回戦

高橋 「では、3人目のかたどうぞ」

ムツツリー 「…………（スック）」

愛子 「じゃあ、ボクが行こうかな？ 1年の終わりに転入してきた工藤愛子です、よろしくね」

Fクラスからは工藤愛子。

Aクラスからは工藤愛子。

高橋 「教科は何にしますか？」

ムツツリー 「…………保健体育」

愛子 「土屋君だつけ？ 隨分と保健体育が得意みたいだね。でも、ボクだつてかなり得意なんだよ？ ……キミと違つて、実技でね」

その言葉に、Fクラスの男子全員（明久と雄一を除く）が歓声をあげた。

愛子 「明久、保健体育でボクと一緒に実技しようよ？」

明久「是非にやりま……」

美波 「アキにはウチと一緒にやるから、必要ないわよー。」

瑞希 「やつです！ 私とするから必要ありません！」

唯 「ナイトのために何でもするのは私の役目なんだよ。」

ムギ 「違うわ。ここは婚約者である私の役目よ。」

瑞希・美波・秀吉・唯・澪・律・梓・愛子・優子 「誰が婚約者よー！」

試合戦争ならぬ明久争奪戦争が始まってしまった。

高橋 「そろそろ召喚をしてください。」

愛子 「はーい。サモンっぽい。」

ムツツリー 「……サモン。」

Dクラス戦にBクラス戦と、出番がなかつた忍び装束に2本の小太刀を持つムツツリーの召喚獣。

愛子 「実戦派と理論派、どっちが強いか見せてあげるよ！」

愛子の召喚獣が、腕輪を発動させて突っ込む。

愛子 「それじゃ、バイバイ。ムツツリーくん」

ムツツリー 「……………加速」

愛子 「え？」

突如ムツツリーの召喚獣の姿が消え、相手の射程外に。

そして……

ムツツリー「………… 加速、終了」

ムツツリーが咳いてから一呼吸置き、愛子の召喚獣が倒れた。

Fクラス 土屋康太 VS Aクラス 工藤愛子

保健体育 589点 VS 0点

愛子 「そ、そんな……！ この、ボクが……！」

相当ショックを受け、愛子は床に膝をつきつなだれた。

「うして3回戦もFクラスの勝利で終わった。

第1-3話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 3回戦（後書き）

次回はバカテストですがネタがないので更新は未定です。

## バカテスト 第15問

問題 第十五問 地理

問題 以下の問い合わせに答えなさい。

「バルト三國と呼ばれる国名を全て挙げなさい。」

姫路瑞希・吉井明久・秋山澪・中野梓の答え

「リトアニア エストニア ラトビア」

教師のコメント

正解です。

土屋康太の答え

「アジア ヨーロッパ 浦安」

教師のコメント

土屋君にとっての国の定義が気になります。

田井中律の答え

「香川 徳島 愛媛 高知」

教師のコメント

正解不正解の前に、数が合っていないことに違和感を覚えましょう。

### 木下秀吉の答え

「明久がいるなら何処の国でも生活していくる。」

### 平沢唯の答え

「ナイトのいる国がバルト三國であり、私が生きる希望なのです。」

### 琴吹紬の答え

「結婚生活は何処でもいいけれど、出来れば日本が良いです。明久様が外国が良いというなら私は従います。」

### 教師のコメント

…………君達は吉井君がいれば良いのですか？

バカテスト 第15問（後書き）

感想等お待ちしています。

## 第1-4話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 4回戦（前書き）

今回初めてオリキヤラ登場をやめましたが、話題が分からないので良くなげないと思っています。あとで修正したいと思います。

第14話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 4回戦

高橋 「これで3対0ですね。次の人は？」

瑞希 「あ、は、はいっ。私ですっ！」

久保 「それなら、僕が相手をしよう。」

Fクラスからは姫路瑞希、Aクラスからは学年次席の久保利光。

雄二 「IJJが一番の心配所だな。」

明久「学年次席争対決だね。」

瑞希は振り分け試験で途中退席したものの、一人の点差はほとんどないため、どちらが学年次席でもおかしくはない。

高橋 「科目はどうしますか？」

久保 「総合科目でお願いします」

総合科目は学年順位がそのまま影響する。

瑞希「構いません！」

Fクラス 姫路瑞希 VS Aクラス 久保利光

総合科目 4671点 VS 3997点

Aモブ2 「ま、マジか！？」

Aモブ9 「いつの間にこんな実力を！？」

Aモブ5 「この点数、霧島翔子に匹敵するぞ……！」

至る所から驚きの声が上がった。

点数差600点オーバーなのだから、無理もない。

久保 「ぐつ……！ 姫路さん、どうやってそんなに強くなつたんだ？」

瑞希 「……私、明久君が好きなんです。好きな人の為ならいくらでも頑張れるんです。」

久保 「Fクラスが好き？」

瑞希 「はい。だから、頑張れるんです」

瑞希が礼をした後に、下がる。

明久 「御苦労さま、瑞希。」

瑞希 「はい。明久君。」

高橋 「4対0で勝者Fクラス」

モブ達 「やつたーーー！」

モブ1 「俺らAクラスに勝つたんだよな。」

モブ2 「Iの設備からもおさらばといつわけだな。」

美夜 「待つて。まだ全部の試合が終わつたわけじゃない。」

雄二 「これ以上試合を続ける理由はないだろ? Fクラスの勝利は変わらないんだからな。」

美夜 「…確かにAクラスの負けは変わらない。私は主様と戦つてデートをしてもらつ。」

雄二 「主様? いつたい誰のことだ。」

美夜 「明久様のことよ。(顔を赤くしている。)」

雄二 「何!? おい明久いつたい何人の女子がお前のこと狙つているんだ! ?」

明久 「ごめん。雄二。僕にも分からない。」

優子 「ちよつと姫神さん何いつてるのよ! ? 明久君とデートするのは私よ。」

愛子 「優子! 何言つてゐるの? 僕がアキとデートするんだから。」

「

Aクラスの女子達数名とFクラスの女子で明久とデートするのは自分だと言い合いを始めてしまった。

雄二 「とにかくFクラスは勝利したんだから、これ以上試合を続ける気はない。」

翔子 「待つて雄二。そんなに私に負けるのが怖い？」

雄二 「そんなことはない。だったら試合続行だ。Fクラスの勝利だけは確定ですよね？高橋先生。」

高橋 「はい。試合を続行してもFクラスの勝利は変わりありません。」

こひして残りの3試合も行われることになった。

## 第14話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 4回戦（後書き）

ガンダムXのティファ、コードギアスの紅月カレン、トローリーの金色の闇

JINKI：EXの川本さつきの話題葉が分かりません。何か参考資料がありましたら感想やメッセージ送信して頂けると嬉しいです。（JR」を書いて頂けたら幸いです。）よろしくお願いします。

## バカテスト 第16問

問題 第十六問 現代社会

問題 以下の問いに答えなさい。

「PKOとは何か、説明しなさい。」

姫路瑞希・秋山澪・中野梓の答え

「Peace Keeping Operations（平和維持活動）の略。国連の韓国のもとで、加盟各國によつて行われる平和維持活動の事。」

吉井明久の答え

「Peace Keeping Operations（平和維持活動）の略。国連の韓国のもとで、加盟各國によつて行われる平和維持活動の事。また、United Nations Peace keeping Operationsとも書く。」

教師のコメント

正解です。吉井君は何故先生が言おうと思つた豆知識を言つてしまつたのですか？

土屋康太の答え

「Pannts Koshibi-ttsukii Oppaiの略。世界中

のスリーサイズを規定する下着メーカー団体の事」

教師のコメント

君は世界の平和の事をなんだと考へていいのですか。

田井中律の答え

「パウエル、金本、岡田の略」

教師の「メント

それは世界の平和を守る人たちです。

木下秀吉の答え

「明久は誰にも渡さない。」

平沢唯の答え

「ナイトがいれば世界のことなんかどうでもいいです。」

琴吹紬の答え

「明久様と結婚できないなら世界なんてどうでもいいです。」

木下優子の答え

「秀吉、明久くんとデートするなんて許せないわ。」

## 教師の「メント

……採点するのが嫌になってしまいますね。吉井君、生徒指導室に来なさい。今日は家に帰れないと思って下さごね（泣）

## バカテスト 第1~6問（後書き）

ネタがマンネリ化してきて困っています。誰かネタを下さい。  
お待ちしています。  
感想等

第15話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 5回戦

高橋 「では、5人目のかたどうぞ」

明久 「僕がいくよ。」

美夜 「私がが行く。主様に勝つて私がデートに行く。」

Fクラスからは、吉井明久。

Aクラスからは、姫神。

高橋 「教科は何にしますか?」

明久 「総合科目でお願いします。」

美夜 「主様。本気でいかせて貰います。」

明久・美夜 「試獣召喚。」

明久と美夜の召喚獣が出現した。

美夜の召喚獣は、金色の闇の姿を小さくした感じである。また、腕には腕輪も装備されていた。

美夜「では、いきます。」

美夜の召喚獣が、腕輪を光らせるとなにか変わった。

ブラックキャットのイヴの服装（ゴスロリ風）に、武装は野太刀に変わっていた。

明久の召喚獣に斬りかかった。

美夜「私の勝ちです。」

明久「別に腕輪を使えるのは君だけじゃないよ。僕も腕輪を使わせてもらつたよ。"ベクトル操作"をね。」

美夜「え？」

突然美夜の召喚獣が動かなくなり、そこに明久の召喚獣の一撃が…。

明久「これで僕の勝ちだ。」

Fクラス 吉井明久 VS Aクラス 姫神美夜

総合科目 9826点 VS 0点

美夜「私の負け。デートなくなつた（哀）」

五回戦はこれで勝負がついた。Fクラスの勝利で。

## 第15話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 5回戦（後書き）

書いてて思ったのですが、明久強すぎですね。美夜の点数は800点弱ぐらいに設定させようかと考えています。しかし、オリキャラ書くのが難しい（汗）感想等お待ちしています。

## バカテスト 第17問（前書き）

今回はやってしまったという感じが非常に強いです。理由は読んで頂ければ…

## バカテスト 第17問

問題 第十七問

問題 以下の問いに答えなさい。

「あなたの考える萌えを書きなさい。」

島田美波の答え

「裸にニーソックスでアキに迫る。（ウチは胸が…）」

姫路瑞希の答え

「裸エプロンで明久君に迫ります。」

中野梓の答え

「猫耳+メイド服でアキ様を魅了します。」

平沢唯の答え

「スクール水着でナイトを誘惑する。」

秋山澪の答え

「ブルマで旦那様に迫る。」

琴吹紬・工藤愛子の答え

「強引に既成事実をつくる。（明久様と）（アキヒ）」

木下秀吉の答え

「明久に上目遣い + 涙目で迫る。」

木下優子の答え

「大胆な下着姿で明久君に迫る。」

姫神美夜の答え

「妹キャラ + メイド服で主様に迫る。」

田井中律の答え

「普段どいつも私でアッキーに迫る。」

教師のコメント

……吉井君。君は絶対に退学させます。決して羨ましいとか妬みはありません。

吉井明久のコメント

退学だけは勘弁して下さい（土下座 + 涙目）

## バカテスト 第17問（後書き）

ガンダムXのティファ、コードギアスの紅月カレン、TO LOVE RUの金色の闇、JINKI:EXの川本さつきの話言葉が分かりません。何か参考資料がありましたら感想やメッセージ送信して頂けると嬉しいです。（URLを書いて頂けたら幸いです。）よろしくお願いします。それがないと話が進められません（汗）皆様のご協力をよろしくお願いします。

第1-6話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 6回戦（前書き）

弥生点数良過ぎだなあ。 明久の点数に近いからなあ。 明久を100  
00点オーバーにしなと駄目だな」つや（笑）

第16話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 6回戦

高橋 「では、6人目のかたどうぞ」

ムギ 「私がいくよ。」

弥生 「…私が出る。天使様とのデートのためだ。」

ムギ 「明久様とデートするのは、私です。」

Fクラスからは、琴吹紬。

Aクラスからは、神崎弥生。

高橋 「教科は何にしますか？」

弥生 「…総合科目。」

ムギ 「全力でいくわ。」

ムギ・弥生 「試験召喚。」

ムギと弥生の召喚獣が出現した。

弥生 「…腕輪発動。」

弥生の召喚獣が、腕輪を光らせると装備が変わった。

ガンダムダブルXに変わっていた。

ムギの召喚獣に攻撃した。

弥生「…私の勝ち。」

ムギ「私も腕輪を使うわ。」

弥生「…え？」

弥生の攻撃を受けたはずなのに、ムギの召喚獣の点数はさほど減っていない。

ムギ「私の腕輪は絶壁。」

Fクラス 琴吹紺 VS Aクラス 神崎弥生

総合科目 4592点 VS 7012点

弥生「…私の方が点数は上

ムギ「私の腕輪を使つた場合自分が受けれるはずのダメージを攻撃した相手に与えるのよ。」

弥生「…何ですつて!?」

Fクラス 琴吹紺 VS Aクラス 神崎弥生

総合科目 4592点 VS 3997点

ムギ「これで終わりよ。」

ムギの攻撃が急所にあたり、弥生の召喚獣の点数が0になつた。

Fクラス 琴吹紬 VS Aクラス 神崎弥生

総合科目 4592点 VS 0点

六回戦はFクラスの勝利で幕が降りた。

第1-6話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 6回戦（後書き）

ムギの腕輪便利だなあと書いていて思いました。感想等お待ちしています。

バカテスト 第18問（前書き）

いつたい何人の女の子が明久を狙ってるのだろう。羨ましいなあ。

## バカテスト 第1-8問

### 問題 第十八問

問題 以下の問いに答えなさい。

「社会で生きていくために必要な物は何か書きなさい。」

島田美波の答え

「アキ」

姫路瑞希の答え

「明久君」

中野梓の答え

「アキ様」

平沢唯の答え

「ナイト」

秋山澪の答え

「旦那様」

琴吹紬の答え

「明久様」

工藤愛子の答え

「アキ」

木下秀吉の答え

「明久」

木下優子の答え

「明久君」

姫神美夜の答え

「主様」

田井中律の答え

「アツキー」

神崎弥生の答え

「…天使様」

教師のコメント

吉井君、君は1週間補習です。覚悟しなさい。

吉井明久のコメント

1週間は勘弁して下さい（土下座）

## バカテスト 第1-8問（後書き）

さて、Aクラス戦が終わつたら明久はデートしますが、学園祭の出し物は原作のまま、中華喫茶で良いですかね？

第17話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 7回戦

高橋 「では、最後のかたどりつけ。」

雄二 「俺の出番だな。」

翔子 「私。」

Fクラスからは、代表の坂本雄一。

Aクラスからは、代表の霧島翔子。

高橋 「教科は何にしますか?」

雄二 「教科は日本史、内容は小学生レベルで方式は100点満点の上限ありだ!」

高橋 「分かりました。そうなると問題を用意しなくてはいけませんね。少し待っていてください。」

高橋女史は教室を出ていく。

Aモブ1 「上限ありだつて?」

Aモブ5 「しかも小学生レベル、万点確実じやないか

Aモブ4 「注意力と集中力の勝負になるぞ……」

明久 「雄二、最後しつかり決めてよ。」

雄二 「ああ、任せや。」

明久と雄二はハイタッチした。

視聴覚室。

高橋 「では、最後の勝負、日本史テストを行います。制限時間は50分、満点は100点です。」

その様子はAクラスのディスプレイに映し出され、他の面々はそこで待機。

高橋 「不正行為などは即失格になります。良いですね？」

翔子 「……はい」

雄二 「わかっているぞ」

高橋 「では、始めてください」

そして、問題は始まった。

Fクラスの生徒は、ディスプレイに映し出される問題から例の問題を見つけるため凝視している。

勝利のピースを、探すため。

くく次の（ ）に正しい年号を記入しなさい くく

( ) 年 平城京に遷都  
( ) 年 平安京に遷都

( ) 年 平城京に遷都

( ) 年 鎌倉幕府設立

• • • 年

( )年 大化の革新

「あつた……あつたよ。」

明久 「雄一の勝利だ！！」

Fクラスの面々が、歓声を上げた。

日本史勝負 限定テスト 100点満点

Aクラス 霧島翔子 VS Fクラス 坂本雄一

97點 VS 100點

最終戦もFクラスの勝利で終わつた。

第17話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 7回戦（後書き）

原作ブレイクですね。Fクラスの設備はびっくりのへ感想等お待ちしています。

## バカテスト 第19問

### 問題 第十九問

問題 以下の問いに答えなさい。

「あなたのなりたい将来の職業は何か書きなさい。」

島田美波の答え

「アキのお嫁さん」

姫路瑞希の答え

「明久君の妻」

中野梓の答え

「アキ様のお嫁さん」

平沢唯の答え

「ナイトのお嫁さん」

秋山澪の答え

「旦那様の奥さん」

琴吹紬の答え

「明久様の妻」

工藤愛子の答え

「アキの妻」

木下秀吉の答え

「明久の妻」

木下優子の答え

「明久君の奥さん」

姫神美夜の答え

「主様の妻」

田井中律の答え

「アツキーのお嫁さん」

神崎弥生の答え

「…天使様のお嫁さん」

教師のコメント

吉井君、君は留年です。覚悟しなさい。

## 吉井明久のコメント

留年は勘弁して下さい（土下座 + 涙目 + 必死顔）

## バカテスト 第1~9問（後書き）

アンケートの締め切りは明日いっぽいとおせち下さい。感想をお待ちしています。

## 第18話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 戰後対談

高橋 「7対0で、Fクラスの勝利です」

高橋教諭が宣言。

翔子 「……雄一、私の負け。」

雄二 「そうだな。翔子は負けた。」

翔子「……」

雄一 「さて、戦後対談だ。Aクラスが条件を飲むのなら、設備交換はしなくても良い。」

律 「ちょっと待った坂本！？私達の設備はどうなるんだよ。」

雄二 「あのなあ、俺達は変則ルールとは言え、Aクラスに勝つたんだ。学園長に直訴してAクラスと同じ設備にして貰う。仮に駄目だとしても、Bクラスとは、普通に戦争して勝つたんだから、最低でもBクラス設備にはして貰う。」

モブ達 「なるほど。」

翔子 「…条件は？」

雄二 「まずはAクラスはFクラスに対して3ヶ月間宣戦布告しないこと。」

翔子 「それは良い。」

雄二 「次の条件は、俺のことは諦めろ、翔子。」

翔子 「…嫌、何で雄二は私のこと嫌い?」

雄二 「嫌いじゃない。」こんな俺のために何年もの時間を費やさせてすまない。翔子のその感情は勘違いなんだ。俺なんかよりも良い男はいっぱいいるだろ?」

パシンシッ! う音が響いた。雄二が翔子にビンタされた音である。

翔子 「雄二、私の気持ちは私にしか分からぬ。それなのにどうして勘違いなんて言つの? ずっと雄二の事が好きなの!」…

雄二 「……」

明久 「雄二、霧島さんお互い冷静になつて考えて。この事は戦後対談でやることじやないよ。」

雄二 「やうだな。すまん。明久。」

翔子 「…」めん、吉井。」

明久 「じゃ雄二、学園長のところに行こいつか。」

雄二 「やうだな。明久。」

学園長 「その必要はないさね。」

明久・雄一 「学園長!？」

学園長 「まさかFクラスがAクラスに勝利するとは……しかも完全勝利じゃないか。良いよ、今回は和平交渉で終結しな。そうすればFクラスの設備をAクラスと同じにしようじゃないか。」

雄一 「じゃ良いな。翔子。」

翔子 「……うん。」

「ついでFクラスとAクラスの試合戦争は終わった。」

第1-8話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス 戰後対談（後書き）

明久との次の話でさせますから。

雄一達とダブルデートした方が良いですかね？

Fクラスが勝ったため、賭けの内容どうしようかと悩んでいます。

何か案がありましたら、よろしくお願ひします、

学園祭のアンケートの返信が1件しかないため、学園祭編は書くのが遅くなりそうです。感想が少ないのでじしどり送つて下さい。

## バカテスト 第20問

問題 第二十問

問題 以下の問いに答えなさい。

「あなたが異性と行きたい場所は何処ですか。」

島田美波の答え

「アキと水族館。」

姫路瑞希の答え

「明久君と遊園地。」

中野梓の答え

「アキ様とライブハウス。」

平沢唯の答え

「ナイトドライブ。」

秋山澪の答え

「旦那様と映画館。」

木下秀吉の答え

「明久と演劇を見に行きたい。」

木下優子の答え

「明久君と雰囲気が良いレストラン。」

姫神美夜の答え

「主様とプール。」

田井中律の答え

「アツキーとボウリング。」

神崎弥生の答え

「…天使様と海に行きたい。」

教師のコメント

場所を書きなさいといつただけです。誰と行きたいかは書く必要はありません。しかし吉井君はハーレムでも作る気ですか？

吉井明久のコメント

そんなつもりはありません。

琴吹紬の答え

「明久様とラブホテル。」

工藤愛子の答え

「アキとラブホテル。」

教師のコメント

：吉井君私の授業の単位はあげませんし、成績は最低にします。

吉井明久のコメント

勘弁して下さい。

## バカテスト 第20問（後書き）

さて次回はデートですか、シチュエーションなどなんのが良いですかね？感想のついでにでも書いて下さい。

第19話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス その後

雄一 「さて、皆一。今日はぼく苦労だった！ 明日は消費した点数の補給を行うから、今日のところは帰つてゆっくりと休んでくれ！ 解散！」

雄一が一いちからを向いて号令をかけねど、皆は雑談を交えながら自分のクラスへと向かつていった。

優子 「さあ明久君デートに行きましょ。」

明久 「ええ！？」

愛子 「ちょっと待つてよ優子！？ アキとデートするのはボクだよ。」

明久 「二人ともそんな約束はしないよね。」

秀吉 「私とデートに行くの（上目遣い）」

弥生 「…私がデートに行く」

瑞希 「私が明久君とデートするんですね。」

美波 「ウチがアキとデートするのよ。」

律 「ちょっと待つた！？ 美波はアッキーとデートしたじゃないか。」

「

美波 「アキと何回でもデートしたいの。」

「ついして明久争奪戦が始まってしまい、明久は、

明久 「じゃあ、今日は優子さんと工藤さんに、秀吉で行くよ。」

美波・瑞希・唯・澪・律・ムギ・梓・弥生・美夜 「そなんあー。」

明久 「皆とは次の機会に行くから。」

美波・瑞希・唯・澪・律・ムギ・梓・弥生・美夜 「分かりました。  
約束ですよ。」

明久 「じゃあ、行こうか。工藤さんに優子さん。秀吉。」

愛子・優子・秀吉 「はい。アキ。（明久君。）（明久）」

明久 「皆また学校で。」

美波・瑞希・唯・澪・律・ムギ・梓・弥生・美夜 「また学校でね。

」

「ついして皆と別れた明久達は学校から帰宅する。

明久 「何処に行く？工藤さんに優子さんに秀吉。」

愛子 「愛子つて呼んでよ。」

明久 「愛子は何処、行きたい？」

愛子 「ボクは何処でも良いよ。」

明久 「優子さんは?」

優子 「優子って呼んで。」

明久 「優子は何処行きたい?」

優子 「明久君に任せるとわよ。」

明久 「秀吉は?」

秀吉 「私も明久に任せるとよ。」

明久 「じゃあゲームセンターに行こうか。」

こうして明久達はゲームセンターに向かった。

明久 「何やううか?」

愛子 「ボクこれが欲しい。」

そう言って愛子が唯指したのは、UFOキャッチャーの景品の犬のぬいぐるみであった。

優子 「確かに可愛いわね。私も欲しいわ。」

秀吉 「私も欲しい。」

明久 「分かったよ。」

そういうと明久は500円を取り出し、コイン投入口へ

愛子 「ちょっと待つてよ！？何で500円入れるの？」

明久 「500円入れれば、6回できるからね。」

愛子 「なるほど。」

明久はうまくゲーム機を操作して3人の欲しがっていたぬいぐるみを取り出し、回数が余ったため、他のぬいぐるみも取つていた。

明久 「はい。プレゼント。」

そつ言ひで三人にぬいぐるみを渡した。優子と秀吉には犬のぬいぐるみと猫のぬいぐるみを。愛子には犬のぬいぐるみと鳥のぬいぐるみである。

優子・愛子・秀吉 「ありがとうございます。大切にするね。」

三人は笑顔で明久にお礼を言つた。

明久 「もう時間も遅いし、あと一個ぐらいやつたら帰らつか。」

愛子 「じゃこれやらない？」

そういうて愛子が指していたのは、プリクラである。

優子 「良いわね。どうせなら一人ずつ明久君と撮らない？」

秀吉・愛子「賛成」

そう言って順番に明久とプリクラを撮つた。

明久 「どうして3人は僕とキスしてる所を撮つたの？恥ずかしかったよ。」

優子 「今日のデートのお礼と私がキスしたかつたから。」

秀吉 「今日のデートのお礼と私が明久とキスしてるプリクラが欲しかつたから。」

愛子 「今日のデートのお礼とアキに対しての愛の証が欲しかつたから。ボクはそれ以上のことしても良かつたんだけど。」

秀吉・優子 「工藤（愛子）！？」

明久は顔を真つ赤にして下に向いてしまつてゐる。

秀吉 「じゃあ明久また学校で。」

優子 「じゃあ明久君学校でね。」

愛子 「アキ学校でね。」

明久 「うん。学校で。」

そつと3人は帰つていつた。

一方、明久は、

明久 「美波や美春に秀吉に優子に愛子は僕にキスしてくるし、唯  
や梓は僕にアーンなんてしてくるし、僕の何処が良いんだろう?」  
顔を真っ赤にしながら、こんなことを考えて帰つていった。

第19話 試召戦争編 Aクラス VS Fクラス その後（後書き）

ポートのシチュエーション難しい。感想をお待ちしています。

バカテスト 第21問（前書き）

すいません。遅れました。

## バカテスト 第21問

問題 第二十一問

問題 以下の問いに答えなさい。

「あなたが今欲しいものはなんですか？」

姫路瑞希の答え

「明久君との（訂正）クラスメイトとの思い出」

教師のコメント

訂正した箇所が非常に気になります。

土屋康太の答え

「Hな本（訂正） 成人向けの『写真集』」

教師のコメント

取り消し線の意味があるのでしょうか。

田井中律の答え

「学力」

## 教師の「メント

「Jの回答で急遽職員会議が開かれました。

霧島（坂本）翔子の答え

「雄一との強い絆（関係）」

教師の「メント

坂本君が羨ましいです。

坂本雄一の「メント

翔子も俺も独身だ！！

木下秀吉・島田美波・姫神美夜・神崎弥生・木下優子・平沢唯・秋山澪・中野梓・清水美春の答え

「（明久）（アキ）（主様）（天使様）（明久君）（ナイト）（曰  
那様）（アキ様）（お兄様）との学園祭での楽しい思い出」

教師の「メント

もつ懐れました（泣）

琴吹紬・工藤愛子の答え

「（明久様）（アキ）との校舎でのS X」

## 教師の「メント

節度ある付き合いをお願いします。

## バカテスト 第21問（後書き）

やつと清涼祭編に突入できた。感想等お待ちしています。

## 第20話 清涼祭編 開幕

桜色の花びらがから新緑に変わり始める季節。

文月学園では、新学期初の行事“清涼祭”（学園祭）の準備が始ま  
りつつあり、活気に溢れていた。

お化け屋敷、喫茶店、展示会、などなど。

さて、我らが2・Fクラスはと云つと……

モブ1 「モブ2！ 来い！」

モブ2 「勝負だ。モブ1！」

準備もせず野球をしていた。

その頃2・Fクラスの教室では明久や唯、澪、ムギ、律、梓、雄二、  
秀吉、美波、瑞希の10名が話し合いをしていた。

西村 「お前ら、清涼祭の準備は・・・」

そこで教室の扉を開けて入ってきたのは、西村先生だった。

西村 「吉井、他の奴らはどうした？」

明久「他の皆は校庭で野球をしています。」

西村 「何だと…？ あいつらもまたく・・・」

西村教諭はあきれるように溜息をはいた。

西村 「坂本、お前は代表なんだから、駄目じゃないか。」

雄二 「止めたんですが、言つことを聞きませんでした。」

西村 「少し待つてろ。あいつらを連れ戻してくれる。」

そう言つと、西村教諭は校庭へダッシュして行つた。

雄二 「俺が進行するから明久は板書してくれ。」

明久 「うん。良いよ。」

二人が話終えると、西村教諭が皆を連れて戻つてきた

西村 「この時期になつて清涼祭に向けて動いてないのはウチのクラスだけだぞ！まったくお前達は・・・少しさまじめにやつたらどうだ。吉井達が動いているだけじゃないか！」

雄二 「クラスの出し物でやりたいものがあれば挙手してくれ。」

雄二 「が告げると、数名が手を挙げた。全員がやる気ないってわけでもないようだね。」

雄二 「はい、ムツツリーー！」

康太 「.....（スクツ）」

名前を呼ばれて立ち上がったのは土屋康太。

康太 「…………写真館」

雄二 「…………ムツツリーーーの言つた写真館つて、かなり危険な予感がするんだが……」

候補 写真館「秘密の覗き部屋」

雄一 「次。はい、モブ2」

モブ2 「メイド喫茶を提案します。」

雄一 「メイド喫茶だな。」

候補 メイド喫茶「萌え萌えキュン」

雄一 「さて、他に意見はあるか。 はい、モブ5」

モブ5 「俺はコスプレ中華喫茶を提案する。」

雄二 「コスプレ中華喫茶？ チャイナドレスでも着せよっていつのか？」

モブ5 「いや、違う。俺の提案する中華喫茶はいろいろなコスプレ+料理で勝負するんだ。」

雄一 「分かった。」

候補 中華喫茶「一ヤンニヤン」

西村 「皆、清涼祭の出し物は決ましたか？」

雄二 「今のところ、候補は黒板に書いてある3つです。」

西村 「どれどれ……吉井馬鹿どもの影響を受けてしまったのか？」

西村先生は驚いている。明久のネーミングセンスに…

雄二 「他にないならこの中から決めるぞ！」

雄二 「三つの中から一つだけ選んで挙手してくれ、写真館が良い人！　はい、次はウェディング喫茶！　最後、コスプレ中華喫茶！」

雄二 「ラスの出し物はコスプレ中華喫茶にします！　皆、協力しろよ。」

大差で中華喫茶が勝利を納めた。女子のコスプレが見たいのだろう。

明久 「料理は僕が引き受けれるよ。」

康太 「…………（スクツ）」

明久 「ムツツリーー、料理なんてできるの？」

康太 「…………紳士の嗜み」

チャイナドレスを見たくて中華料理店に通つてゐるつもりでいるよ

うになつたんだね。

雄二 「まずは厨房班とホール班に分かれてもう。厨房班は明久とムツツリーのところ、ホールは女子全員だ！」

律 「ねえ、坂本。ライブやりたいんだけど。」

雄二 「ライブだと？」

律 「私と唯と澪とムギと梓で。」

雄二 「それはかまわないが、バンドなんかできるのか？それと場所はどうするんだ？」

律 「私がドラムで、澪がベース、唯がボーカル＆ギターで梓がギターでムギがキーボードやるよ。場所は？うーん。」

律は考え込んでいる。

明久 「体育館なんていいんじゃない律？それと秀吉と瑞希をボーカルに入れてよ。2人とも歌が上手いから。」

瑞希 「え！？ 私ですか！？」

秀吉 「私は良いわ。」

瑞希 「私も頑張ります。」

雄二 「そうなると、女子が圧倒的に足りなくなるな。どうする？ 明久？」

明久 「他のクラスの女子を助つ人につれてくれば良いんじゃない。」

雄二 「ナイスアイディアだ。それで行こう。」

「うしてFクラスはコスプレ中華喫茶とライブをやることになった。」

## 第20話 清涼祭編 開幕（後書き）

唯達はライブをやること……どんな清涼祭になるのか作者にも分からせん。感想お待ちしています。

## バカテスト 第22問

問題 第二十一問

問題 以下の問い合わせに答へなさい。

喫茶店を経営する場合、制服はどんなものが良いですか？

姫路瑞希の答え

「家庭用の可愛らしいプロン」

教師の「メント

いかにも学園祭らしいですね。コストもかからないですし、良い考えです。

田井中律の答え

「動きやすく、お洒落にインパクトを『』える格好。」

教師の「メント

あなたからまともな意見が出て、異常だと思った先生を許してください。

土屋康太の答え

『スカートは膝上15センチ、胸元はエプロンドレスの様に若干の強調をしながらも品を保つ。色は白を基調とした薄い青が望ましい。トレイは輝く銀で照り返しが得られる位のものを用意し、裏には口ゴを入れる。靴は5センチ程度のヒールを……』

#### 教師のコメント

裏面にまでびつしりと書き込まなくとも。

オリキャラ 5（前書き）

龍夜Mk2様からオリキャラを頂きました。

## オリキヤラ 5

名前：神岸 有栖  
かみきし ありす

誕生日：11/08

性別：女性

身長：178cm

BWH：B95（E）／W60／H95

一人称：私

明久の呼び方：アキ／デート時などは旦那様

好きなもの／趣味：明久・家事全般・新体操・勉強・読書

嫌いなもの：喧嘩・下品な人（FFF団や雄二）・変態（根本、久保）

容姿：『リリカルなのは（3期シリーズ）』の『フェイト・T・ハラオウン』そのもの

性格：基本的には穏和で控え目な優等生で一見クールな印象があるが、実際はとても心優しい性格で明久や子供たちに対しても少々過保護なほど世話焼きな性格。

また何でもすぐこなせる器用さを持ち、頭脳明晰、機転が効き包容力もあり、誰に対してもさりげなく気を回せるという間に好かれる性格の持ち主である。

反面、明久へのアプローチはさりげなく、凄く大胆な部分があり、また抜け駆けを狙う事もある。

所属：2-B

学力：優子レベル

得意科目 全科目700点以上

苦手科目 なし

・召喚獣

服装：フェイトのBJ+道化師の帽子

\* 帽子のイメージは『ダンボール戦機』に登場する『LBXジヨー

力一』

武装：バルテツシユ・アサルト

腕輪：雷神

消費：100点

イメージ：稻妻や電撃などの『雷』や『電気』を操れる  
オカルト時：サキュバス

オリキャラ 5（後書き）

龍夜Mk2様ありがとうございました。

## 第21話 清涼祭編 学園長の呼び出し

さて、明久達がコスプレ中華喫茶の打ち合わせをしていたら、

西村 「吉井に坂本、学園長がお呼びだ。すぐに学園長室へ行ってくれ。」

明久 「僕と雄二ですか？」

西村 「そうだ。至急行ってくれ。」

雄二 「解った。行くぞ明久。」

目指すは学園長室。

明久、雄二は学園長室へと向かった。

学園長 「……賞品の……として隠し……」

教頭 「……………勝手に…………如月グラン・パークに…………」

学園長室前に来たが、聞こえてくるのは言い争いの声。

雄二 「どうした、明久？」

明久 「いや、中で何か話をしているみたいなんだけど……」

雄二 「呼ばれたんだから、ノックしてやつたと終わらせて教室に帰らないとな。

早速学園長室をノックする。

学園長 「開いてるから入つてきな。」

そこには、藤堂カラル学園長。

試験召喚システム開発者である。

教頭 「やれやれ、取り込み中だと聞つのに、とんだ来客ですね。これでは話を続ける事も出来ません……まさか、貴方の差し金ですか？」

そして教頭は、メガネをいじりながら、学園長を睨みつける。

学園長 「バカを言わないでおくれ。どうしてこのアタシがそんなせこい手を使わなきゃいけないのや？ 負い目があると言つ訳でもないのに。」

教頭 「それはどうだか。学園長は隠しじ」とがお得意の様ですから。

」

学園長 「やつとかいつてこるよつて、隠し事なんてないね。あんたの見当違いだよ。」

教頭 「……そうですか。そこまで否定されるなら、この場合はそういう事にしておきましょう。」

そう言って去つていく教頭。

学園長 「それじゃ早速本題に入るか。清涼祭で行われる召喚大会は知ってるかい？」

明久 「ええ。それが何か？」

学園長 「じゃ、その優勝賞品と準優勝品は知っているかい？」

優勝賞品とは、“トロフィー”と“賞状”と“漆黒の腕輪”と“霸王の腕輪”。

そして副賞として、如月グランドパークプレオープンペアチケット。

明久 「それが何か？」

学園長 「この副賞のペアチケットなんだけど、ちょっと良からぬ噂を聞いてね。出来れば回収したいんだよ。」

先程聞こえた話の中に、如月グランドパークという単語があった。  
それに関係してるので、明久達はそう決定付けた。

明久 「回収？ それなら、商品に出さなければ良いじゃないですか？」

学園長 「そうできるならしたいさ。けどね、この話は教頭が進めたとはいって、文月学園として如月グループと行つた正式な契約だ。  
今更覆す訳にはいかないんだよ

雄二 「契約する前に気付いてくれよ。学園長だろ。」

学園長 「うるさいね。腕輪の開発で手一杯だつたんだよーそれに悪い噂を聞いたのはつい最近だしね。」

明久 「で、良からぬ噂つてのは?」

学園長 「如月グループは、如月グランドパークに1つのジンクスを作ろうとしてるのさ。」ここを訪れたカップルは幸せになれるつてジンクスをね。」

明久 「ジンクス? ……どうやつてです?」

学園長 「プレミアムチケットを使って来た2組カップルを、結婚までコーディネートするつもりらしいのさ。企業として、多少強引な手段を用いてもね」

文月学園にはその性質上、数多くのスポンサーが存在する。

如月グループも当然、スポンサーの一つである。

雄二 「うちの学校は何故か美人揃いで、試験召喚システムつて話題性もたっぷりだからな。」

明久 「それに、学生から結婚まで行けばジンクスとして申し分ないね。」

学園長 「ふむ。2人とも頭の回転が良いじゃないか。」

学園長 「ま、そんなワケで本人の意思を無視して、うちの可愛い生徒の将来を決定しようつて計画が気に入らないのさ。そこで、吉井と田井中で回収して欲しいのさ。」

雄二 「どうして、おれじゃ駄目なんだ？」

学園長 「あんたは代表だろ？」「うう」と思つてね。」

明久 「しかし律は無理ですよ。ライブがありますし。それだったら梓に頼んで良いですか？」

学園長 「吉井は点数が高すぎるから、Fクラス並の成績の奴にしてくれないかい？周りから非難されそつだから。」

明久 「じゃ美波で良いですか？」

学園長 「その娘は総合科目の成績はFクラス並かい？」

明久 「はい。」

学園長 「じゃ2人にお願いするとあるわね。」

”計画通り”とこつ顔で、嬉しそうにする学園長。

何かあると感じた雄二は、

雄二 「ちょっと待つた。」ちからも提案がある。「

学園長 「何だい？ 言つてみな」

雄二 「召喚大会は2対2のタッグマッチ。形式はトーナメント所為で、1回戦が数学だと2回戦は化学、といった具合に進めていくと聞いている。」

学園長 「それがどうかしたのかい？」

雄二 「対戦表が決まったら、その科目の指定を俺達にやらせても  
らいたい。」

学園長 「それなら協力しようじやないか。」

雄二 「それから俺達はライブをやるから体育館の使用許可と他の  
クラスからの人員の借り入れを許可してくれなければ、俺達は協力  
をしない。」

学園長 「それも許可しよう。」

雄二 「それなら取引成立だ。」

「ついで学園長との話は終わった。

## 第21話 清涼祭編 学園長の呼び出し（後書き）

唯達や明久達のコスプレ案や科目の組み合わせなどの案を募集したいと思います。

感想お待ちしています。

オリキャラ 6（前書き）

龍夜Mk2様からオリキャラを頂きました。

## オリキヤラ 6

名前：シャルロット＝Ｋ（神崎）＝ガイスト

誕生日：10／10

性別：女性

身長：154cm

BWH：B85（D）／W60／H86

一人称：僕（先生の前だと、私）  
アキヒサ

明久の呼び方：大天使様

好きなもの／趣味：明久・家事全般・水泳・新体操・勉強・読書  
嫌いなもの：喧嘩・下品な人（FFF団や雄二）・変態（根本、久

保）

容姿：『IS』の『シャルロット・デュノア』そのものの性格：基本的には穏和で控え目な優等生であるが嫉妬でキレることがある（その際も表情は笑顔である）。「怒らせると一番怖い」タイプ。また何でもすぐこなせる器用さを持ち、頭脳明晰、機転が効き包容力もあり、誰に対してもさりげなく気を回せるという皆に好かれる性格の持ち主でもある。そのため、個性の強い他のヒロインの面々のフローに苦心するはめになることも少なくなく、ある意味苦勞人である。反面、明久へのアプローチはさりげなく、凄く大胆な部分があり、また抜け駆けを狙う事もある。

所属：2-B

学力：優子レベル

得意科目 全科目650点以上

苦手科目 なし

・召喚獣

服装：メイド服

武装：2丁拳銃（ベレッタM92Fとコルトガバメント）

腕輪：追尾弾  
ホミング

消費：100点

イメージ：『リリカルなのは』の『アクセルシユーター』と同じ『追尾弾』

オカルト時：熾天使

オリキャラ 6（後書き）

龍夜Mk2様ありがとうございました。

## バカテスト 第23問

問題 第二十三問

問題 以下の問いに答えなさい。

喫茶店を経営する場合、ウエイトレスのリーダーはどのように選ぶべきですか？

?可愛らしさ ?統率力 ?行動力 ?その他( )

また、その時のリーダー候補も挙げてください。

土屋康太の答え

「?可愛らしさ 候補……姫路瑞希&木下秀吉&島田美波&平沢唯  
&秋山澪&田井中律&琴吹紬&中野梓&清水美春&木下優子&工藤  
愛子&神崎弥生&河本さつき&姫神美夜&天宮翼&神岸有栖&シャ  
ルロット＝Ｋ（神崎）＝ガイスト」

教師のコメント

甲乙つけがたいと言つたところでしょうかね。

吉井明久の答え

「?可愛らしさ 候補……姫路瑞希&木下秀吉&島田美波&平沢唯  
&秋山澪&田井中律&琴吹紬&中野梓&清水美春&木下優子&工藤  
愛子&神崎弥生&河本さつき&姫神美夜&天宮翼&神岸有栖&シャ  
ルロット＝Ｋ（神崎）＝ガイスト」

## 教師のコメント

何故「こんなにいるのでしょうか？」

吉井明久の答え？

「?その他（結婚相手） 候補…姫路瑞希

吉井明久の答え？

「?その他（婚約者） 候補…琴吹紬

吉井明久の答え？

「?その他（童貞脱出相手） 候補…神岸有栖

吉井明久の答え？

「?その他（初夜の相手） 候補…工藤愛子

教師のコメント

「どうして吉井君の用紙が「こんなにあるのでしょうか？」

坂本雄一の答え

「その他（結婚相手） 候補…霧島翔子」

教師のコメント

どうしてAクラスの霧島さんが、用紙を持って来てくれたのでしょうか？

## アンケート4

学園祭で明久は美波タッグで大会にでますが、学園祭デートは誰としたら良いですか？以下のヒロインから選んで感想やメッセージ送信で伝えて下さい。人数は多くても3人までとさせて下さい。皆様のご協力をよろしくお願ひします。

姫路瑞希

木下秀吉

島田美波

平沢唯

秋山澪

田井中律

琴吹紬

中野梓

清水美春

木下優子

工藤愛子

神崎弥生

河本さつき

姫神美夜

天宮翼

神岸有栖

シャルロット＝Ｋ（神崎）＝ガイスト

ＰＳ：感想が全く書かれていないので、作者のやる気が出なくてスランプです。毎日更新はきついですね。

## アンケート4（後書き）

話は変わりますが、ヨーロッパでお守りが出なくてどうしたら欲しいお守りがあるのでしょ~?

## 第22話 清涼祭編 クラス間交渉 Aクラス編（前書き）

ハンター・タカヒー様、龍夜MK2様、コカン様、rena s u ar t様感想ありがとうございます。ちなみに作者が欲しいお守りは属性攻撃4、火耐性1、アキスロ3です。

## 第22話 清涼祭編 クラス間交渉 Aクラス編

さて、明久達は、学園長室で話し合いが終わった後、Aクラスに向かっていた。

明久 「ねえ、雄二？ Aクラスから人員を借りるの？」

雄二 「そうだ。Aクラスの場合は、失敗しないからなあ。明久が頼めば。」

明久 「僕が頼めばって期待しそぎだよ。雄二失敗しても怒らないでよ？」

雄二 「自覚なしか、失敗しないんだから、怒り様がない。」

2人がこんな話をしながら歩いていると、Aクラスの教室前まで着いていた。

雄二 「翔子はいるか？」

翔子 「…何？」

雄二 「実はAクラスから女子を数人貸して欲しいんだが、もちろん学園長の許可は取つてある。」

翔子 「…断る。クラス代表だからと言つて強制はできない。」

雄二 「ならば、個人が納得すれば良いんだな？」

翔子 「Fクラスには、借りがあるからそれぐらい構わない。」

雄二 「それじゃ、まず木下、工藤話がある。」

優子 「何よ?」

愛子 「何?」

雄二 「2人は清涼祭はFクラスで働いてくれないか?」

優子 「私達はAクラスの生徒なのよ?」

雄二 「もちろんタダでとは言わない。」

愛子 「何があるので?」

雄二 「手伝ってくれるなら、休日に明久がデートしてくれるそいつだ。」

明久 「ちょっと待つた!?僕はそんなことは言つてないよーーー。」

優子・愛子 「絶対に手伝うわ(よ)」

さつき・美夜・翼・弥生 「ちょっと待つて!?私達も手伝う(い)ます( )」

さつき・美夜・翼・弥生 「王子様(主様)(ご主人様)(天使様)とデートして貰います。」

明久 「雄二収集がつかなくなっちゃったじゃないかーーどうしてく

れるのさ?」

雄二 「すまん明久。しかしFクラスとしては成功だから良いだろ。

「

優子達は明久のことと争っていた。（主に口上で）

明久 「じゃ雄二仕返しだ。霧島さん雄二がデータしてやるから、Fクラスの手伝いをしてくれだつてさ。」

翔子 「……雄二絶対に手伝う。」

雄二 「ちょっと待て！？こんなに人数がいるからもう十分だ。」

翔子 「…他の娘に浮気は許さない。」

雄二 「わわわわわわわ。アイアンクローはよせ。」

明久 「霧島さん。アイアンクローはやめて、雄二の頭に胸を押し付ければいいんだよ。」

翔子 「ありがとう吉井。さつやく」

ふにゅんと音が聞こえてきた。

雄二 「やめる。翔子。解った。ぜひ手伝ってくれ。」

翔子 「……そう。」

雄二 「あからさまに残念がるな。」

こうしてAクラスからは木下優子、工藤愛子、神崎弥生、河本さつき、姫神美夜、天宮翼、霧島翔子を確保した。

バカテスト 第24問（前書き）

% 様感想ありがとうございます。

## バカテスト 第24問

問題 第二十四問

問題 以下の問い合わせに答えなさい。

学園祭で異性と回るなら、何処が良いですか。

F F F 団の答え

「女子とこむ時点で異端者なんじやああああ。」

教師の「メント

君達は絶対に女性と縁がないことを保障します。

工藤愛子の答え

「トイレに連れ込んでアキといふ X」

琴吹紬の答え

「校舎裏で明久様とH」

教師の「メント

学園祭中になんて事を…。学生の内はやめて下せー。

琴吹紬・工藤愛子の「メント

学生じゃなきゃ良いんですか？

### 木下秀吉の答え

「演劇の出し物を見て回る。」

### 教師のコメント

演劇部の木下さんらしいですね。

### 木下優子の答え

「明久君に大胆な下着で迫り、（閲覧削除）な」とあります。

### 教師のコメント

優等生の木下さんらしい無い答えですね。工藤さんの影響ですかね？

### 霧島翔子の答え

「雄」と夫婦でしかしない事をする。」

### 教師のコメント

避妊だけはして下さい。

### 坂本雄一のコメント

夫婦じゃねえええ！！

## 第23話 清涼祭編 クラス間交渉 Bクラス編

さて、明久達は、Aクラスでの交渉の後、Bクラスに向かっていた。

明久 「ねえ、雄二？ Bクラスから人も員を借りるの？」

雄二 「こうなりややけだ。翔子は計算外だったからな。Bクラスから2～3名借りる。女子の数は多いに越したことはないからな。それにBクラスには試験召喚戦争での貸しがあるからな。」

明久 「なるほど。」

2人がこんな話をしながら歩いていると、Bクラスの教室前まで着いていた。

雄二 「根本はいるか？」

根本 「…何のようだ？ 坂本」

雄二 「実はBクラスから女子を2～3人貸して欲しいんだが、もちろん学園長の許可は取つてある。」

根本 「良いぜ。こっちも準備の都合があるから、2人で良いか？」

雄二 「ああ、助かる。」

根本 「Fクラスには、借りがあるからそれぐらい構わないぜ。じやあちよっと待つてくれ。誰にいって貰うかな。」

有栖 「私が行きましょうか？代表？」

根本 「良いのか？」

有栖 「Fクラスならアキがいるクラスですから。私は構いません。  
」

根本 「それならあと一人をどうするかだが…」

有栖 「それなら心配はいりませんよ。シャルロットに頼みますから。シャルロットこっち来て。」

シャルロット 「何？」

有栖 「Fクラスに手伝いにいくんだけど、あなたも来る？」

シャルロット 「喜んで僕も行くよ。」

根本 「坂本。この2人で良いか。」

雄二 「助かるぜ。根本。」

根本 「これで試験召喚戦争での借りは返したぜ。クラスの方には俺が説明しておく。まあ皆反対できないだろうから大丈夫だと思

うが…」

雄二 「そこは代表の権限でどうにかしてくれ。設備を落とすと言えば、大丈夫だろ？」

根本 「ああ、どうにかするさ。」

そのころ有栖達は明久のことで争っていた。（主に学園祭でデートするため。）

有栖 「アキとデートするのは私だよ。」

シャルロット 「大天使僕とデートするんだよ」

明久 「ちょっと待て！？雄二|どうにかしてよ。」

雄二 「Bクラスにもいたのか。お二人とも明久はデートしていくから安心しろ。」

有栖・シャルロット 「分かった（よ）。」

明久 「雄二！？何無責任なことをいつてるのさ！？」

雄二 「こうするしかないんだ。良いじゃないか、たくさんの女子とデート出来て。」

明久 「雄二は他人事だと思つてそんなことを言つんだよ。デート代だって、多くかかるし。それなら良いよ。雄二に請求するから。」

雄二 「ちょっと待て！？明久それはないだろう。」

明久 「それなら霧島さんに有栖とシャルロットの事をナンパしたと言つけど？」

雄二 「分かった。それぐらい喜んで払おう。」

何故か汗を滝のよつに流れていた。

こうしてBクラスからは神岸有栖、シャルロット＝Ｋ（神崎）＝ガ  
イストを確保した。

第23話 清涼祭編 クラス間交渉 Bクラス編（後書き）

スランプとの時に限つて新連載のことを思いついたりするから困るんだよなあ。詳しいことは活動報告を見て下さい。感想お待ちしています。

## 召喚獣装備（前書き）

龍夜Mk2様から召喚獣の装備案を頂いて、作者が一部変更しました。  
yuu-nio様感想ありがとうございました。

## 召喚獣装備

律の場合	服装 モンハンのアカムの装備 武器 双剣	明久の装備
澪の場合	服装 モンハンのキリン装備 武器 ガンランス	雄一の場合
武器 弓	服装 モンハンのブナハ装備	服装 : 『リリカルなのは S T S』から『スバル・ナカジマ』の『B J』の『特攻服』と『鉢巻』
武器 弓	服装 モンハンのブナハ装備	武器 : 『リリカルなのは S T S』から『リボルバー・ナックル』と『ジェットエッジ』を装備
澪の場合	服装 モンハンのキリン装備 武器 ガンランス	唯の場合

服装 モンハンのザザニア装備

武器 大剣

紺の場合

服装 モンハンのナルガ装備

武器 ライトボウガン

梓の装備

服装・モンハンのアスール装備

武器・2丁拳銃リボルバー

他のキャラは原作と一緒に装備とこいつことで。

召喚獣装備（後書き）

龍夜Mk2様ありがとうございました。

## バカテスト 第25問

問題 第二十五問

問題 以下の問い合わせに答えなさい。

学園祭の模擬店で、何を出店すれば良いかと思いますか。

吉井明久の答え

「お姫さんが参加できる簡単なレクリエーション。」

教師の「メント

お客様のことを考えているので、良いと思います。

琴吹紬・工藤愛子の答え

「マイド喫茶」

教師の「メント

久しぶりに安心した答えでした。

神岸有栖の答え

天使様との愛を確かめる物。

教師の「メント

私情を挟まないで下さい。

平沢唯・秋山澪・田井中律・中野梓の答え

「ライブ」

教師のコメント

君達はライブをするんでしたね。頑張って下さい。

## 第24話 清涼祭編 クラス間交渉 Dクラス編

さて、明久達は、Bクラスでの交渉の後、Dクラスに向かっていた。

明久 「ねえ、雄二？ Dクラスからも人員を借りるの？」

雄二 「Dクラスなら大丈夫だ。明久のことが大好きな清水がいるからな。」

明久 「ちょっと待って！？ また僕を利用する気！？」

雄二 「その方が手っ取り早いからな。」

明久 「これ以上清涼祭中にデートするのは無理だよ！？」

雄二 「そこは何とかしてくれ。さあ行くぞ。」

2人がこんな話をしながら歩いていると、Dクラスの教室前まで着いていた。

雄二 「平賀はいるか？」

平賀 「…何のようだい？ 坂本君」

雄二 「実はDクラスから清水を貸して欲しいんだが、もちろん学園長の許可は取つてある。」

平賀 「何故清水さんを指定するんだい？」

雄二 「明久の言つことなら何でも聞いてくれそだだからな。」

平賀 「とにかく本人と交渉してくれ。」

雄二 「解つた。」

平賀 「おーい。清水さんちよつと来ててくれ。」

美春 「何ですか？代表。」

平賀 「実はFクラスで清涼祭中君に手伝いをして欲しいそつだ。」

美春 「お兄様に会えるんなら手伝いでも何でもしますわ。」

雄二 「交渉成立だな。」

美春 「お兄様清涼祭中は美春とデートして下さいね。」

明久 「ちょっと無理かな。いろんな人からデートしてくれって言われてるから。休日に付き合つからごめんね。」

美春 「解りましたわ。約束ですわよ。」

雄二 「じゃあ清水を借りていいくからな。」

平賀 「解つた。」

「つしてロクラスからは清水美春を確保した。

## バカテスト 第26問（前書き）

私事ですが、無事お守り入手しました。おまけで痛撃5  
が出ました。このお守りは強いの？

攻撃10

## バカテスト 第26問

問題 第二十六問

問題 以下の問い合わせに答えなさい。

もし、清涼祭中に好きな異性が「デートをしていたらどうしますか。

吉井明久の答え

「僕には相手が多すぎて解りません。」

教師のコメント

相手が多すぎて分からぬといつのは羨ましいです。

琴吹紬・工藤愛子の答え

「体に教えてあげます（あげる）」

教師のコメント

恐怖しいか感じません。

神岸有栖の答え

天使様を私に夢中にさせます。

教師のコメント

肉体的なことは避けましょう。

平沢唯の答え

「思いつきり泣いて甘える」

教師のコメント

まあ正道ですね。

**バカテスト 第26問（後書き）**

感想お待ちしています。

第25話 清涼祭編 美波との交渉…やがて疑念（前書き）

%様お気遣いありがとうござります。

## 第25話 清涼祭編 美波との交渉…そして疑念

さて、明久達は、Dクラスでの交渉の後、Fクラスの教室に着いた。

明久 「美波お願いがあるんだけど良い?」

美波 「何?アキ」

そう言って近づいてきたボニーテールの少女島田美波。

明久 「僕と一緒に召喚大会に出てくれない?」

美波 「どうしてウチとなの?ウチより点数良い人が沢山いるじゃない。」

明久 「学園長から言われたんだよ。僕と組んで召喚大会に出場しろってさ。そうすれば人員の借り入れと体育館の使用許可をくれるつて。」

美波 「なんだ。(アキが一緒に出たいと思ったんじゃないのね)

美波の顔が悲しそうな表情だった。

律 「アツキー私達ライブできるんだね。」

明久 「うん。そうだよ。」

雄二 「しかし引っ掛かるんだよな。」

明久 「何がさ、雄一？」

雄二 「最初に明久と田井中を指定してきただろ。そこが引っ掛かるんだよ。」

明久 「雄一の考えすぎじゃない。僕の点数が高すぎるのは事実だし。」

雄二 「忘れたのか明久？学園長は総合科目でFクラス並の点数ということはだいたい1000点ぐらいだ。田井中は総合科目びのくらいだ？」

律 「900点弱ぐらいかな。」

雄二 「学年最下位の田井中を指定したんだぞ。何か裏がある。明久に出場しろといったからには優勝させたいんだろうが、バカを加えたのが解らん。」

明久 「言われてみれば確かに。」

律 「ちょっと待つて！？私がバカだと言いたいの！？」

その場にいる全員が目を逸らした。

律 「ねえ私はバカなの？」

明久 「今度勉強教えるから元気だしてよ。」

律 「うん。（アツキーと勉強会）」

律は嬉しそうな表情をしていた。しかし、他の女性人は絶対に勉強会に参加するという意思が見えていた。

雄二 「話がそれてしまつたな。島田と明久で出場してくれないか。  
」

明久 「お願ひだよ、美波。」

美波 「分かつたわよ。（惚れたものの弱みね）」

他の女性人は羨ましそうに見ていた。

雄二 「ムツツリーー」「……問題ない。明日までに全員分仕上げておく。」

ムツツリーー 「……忍者のように消えたムツツリーー」。

雄二 「明久、相談がある。（小声で）召喚大会の科目指定についてだ。」

明久 「了解。皆ちょっと雄二と相談することがあるから後はよろしくね。」

翔子 「…雄二と浮気する気？吉井。」

明久 「ちょっと待つてよ！？雄二とは親友だけど、そういうふた感情はないよ。霧島さん。」

翔子以外の女子 「私が女の子の魅力を教えます。体に。」

愛子とムギの影響だらうつか？そんなことをいつ女子達。

明久 「僕は女の子にしか興味はないよ！？何か疲れたけど、さあ雄一相談を始めようか。」

そういうて皆から離れていく雄一と明久。

雄二 「1回戦は島田の苦手科目の古典を使つてしまおう。2回戦も島田の苦手科目の現代国語でいいか？どうせ弱いやつに当たるだろうから。総合科目は使わないでおこづ。何かあつた時に困りるからな。」

明久 「僕は苦手科目がないから良いけど。腕輪の力で倒せば良いし。」

雄二 「後は決勝に明久の特に得意な日本史にすれば負けることはない。じゃあ学園長にそう伝えるか。」

いつして2人で学園長に報告したのだった。

第25話 清涼祭編 美波との交渉…そして疑念（後書き）

まだ本調子じやありませんが、無理しない程度に頑張ります。感想お待ちしています。

## バカテスト 第27問

問題 第二十七問

問題 以下の問い合わせに答えなさい。

この小説を読んでください。この小説に感謝の一言を書こなさい。

吉井明久の答え

「はじめ作者の駄文を読んでください。ありがとうございます。」

工藤愛子の答え

「読んでくれてありがとうございます。アキと結ばれるのは私だから応援よろしくね。」

琴吹紬の答え

「明久様と結ばれるのは私ですが、皆様に読んで貰つて幸せになる所を見てくださいね。」

シャルロット＝Ｋ（神崎）＝ガイストの答え

「読んでくれてありがとうございます。大天使様と結ばれるのは僕ですので応援よろしくお願いします。」

作者のコメント

ユニーク 22000越え、PV170000越えを達成しました。  
これも皆様の応援や支援のおかげです。ありがとうございます。  
こんな作者の駄文ですが、よろしくお願いします。

## 第26話 清涼祭編 衣装合わせ

そんなこんなで翌日。

ムツツリー「……衣装が出来た。皆さん来て欲しい。」

そういうて名人に衣装を渡すムツツリー。」

明久にはクロノのBロコスプレ。

雄一にはザフイーラのBロコスプレ。

瑞希にはシグナムのBロコスプレ。

秀吉にははやてのBロコスプレ。

美波にはエリオのBロコスプレ。

唯にはヴィータのBロコスプレ。

澪にはリイン？（正常）のBロコスプレ。

律にはヴィータ（白）のBロコスプレ。

紬にはシャマルのBロコスプレ。

梓にはリイン？のBロコスプレ。

美春にはルーのBロコスプレ。

優子にはティアナのB・Cコスプレ。

愛子にはキャロのB・Cコスプレ。

弥生にはなのは（第三期）のB・Cコスプレ。

さつきにはスバルのB・Cコスプレ。

美夜にはヴィヴィオ（聖王）のB・Cコスプレ

翼にはリイン？（闇の書）のB・Cコスプレ。

有栖にはフロイト（第三期）のコスプレ

シャルにはギンガのB・Cコスプレ。

翔子にはチャイナ服。

それを見たFクラスのモブ達は、

須川 「おお眼福じやあああ。」

藤堂 「最高だああああああああああああああああ。」

近藤 「天国だあああああ。」

他のFクラスの男子もテンションはMAXだ。

明久 「皆良く似合つてるよ。」

その言葉に女性人（翔子を除く）が顔を赤らめ喜んだ。

翔子 「…雄一も吉井を見習つべき。」

雄二 「例え、見習うとしても翔子に言ひことはない。」

翔子 「…雄一ひどい。（涙目）」

明久 「雄一、霧島さんを泣かせちゃ駄目じゃないか。」

雄二 「すまん。明久。翔子…似合つてゐるぞ（小声）」

翔子 「…雄一嬉しい。」

そう言つて雄一に抱きつく翔子。

須川 「異端者には死の鉄槌を。」

モブ達 「うおおおおおおおお。」

明久 「皆、邪魔したらどうなるか分かつてるよね？」

そう言つて明久が睨みつけたら、全員が、

モブ達（須川・藤堂・近藤を含む） 「すいませんでしたあああ  
あ」

即座に土下座しながらの謝罪をしていた。

雄一 「そんなことより明日から本番だ。仮入れていぐわ。」

モブ達（須川・近藤・藤堂を含む）「おひ。」

じつて、清涼祭本番を迎えるのであった。

## 第26話 清涼祭編 衣装合わせ（後書き）

コスプレ案は龍夜MK2様から頂きました。ありがとうございます。（汗）モブ達なのはを知らない人には分からぬかも知れません（汗）。としていたのを原作に名前があるやつは名前を出していこうと思います。感想お待ちしています。

## アンケート

皆様に相談ですが、バカテストは必要ですか？最近バカテストを考えるのが大変でネタも良いのが思いつかないので、アンケートさせて頂きます。

以下の文は文字数稼ぎです。

ああああああああああああああああああああああああああああああ  
ああああああああああああああああああああああああああああああ  
あああああああああああああああああああああああああああああ  
あああああああああああああああああああああああああああああ  
あああああああああああああああああああああああああああああ  
あああああああああああああああああああああああああああああ  
あああああああああああああああああああああああああああああ  
あああああああああああああああああああああああああああああ  
あああああああああああああああああああああああああああああ

第27話 清涼祭編 清涼祭当日（前書き）

暫くバカテストはお休みします。

## 第27話 清涼祭編 清涼祭当日

清涼祭初日の朝。

Fクラスの教室はAクラスと同じ設備の教室が、中華風の喫茶店へと変わっていた。

「ムツツリー」「…………飲茶も完璧」

「明久、おわづ！」

「雄二、「ムツツリー」か……厨房はどうだ？」

「ムツツリー」「…………味見用」

明久の後ろにいつの間にかいたムツツリーは、木のお盆を差し出した。

その上には、陶器のティーセットとパスタ皿

「唯」「わあ……おこしそうだね。」

「美波」「土屋、これウチ等が食べちゃつていいの?」

「ムツツリー」「…………（口クリ）」

「瑞希」「では、遠慮なく頂きます。」

瑞希、美波、秀吉、唯、梓、澪、律、ムギ、優子、愛子、美春、シ

ヤルロット達女性人は手を伸ばし、作りたての温かいゴマ団子を食べる。

瑞希 「美味しいです！」

美波 「表面はカリカリで、中はモチモチで食感も良いし…」

秀吉 「甘すぎないところも良いね。」

明久 「やっぱり女の子は甘い物に目がないんだなあ。」

瑞希 「お茶も美味しいです」

美波 「本当にね～……」

美味しさに感動しているのか、女性人の目がトロロンと垂れた。

それを見て、明久、雄一も食欲をそそられた。

明久 「それじゃ僕も貰おうかな？」

雄一 「ああ。俺も貰うぞ。」

ムツツリー 「…………（コク「ク）」

さりげなく残ったゴマ団子を、明久と雄一は一口。

明久 「美味しいよ。ムツツリーー。」

雄一 「プロにも匹敵するぐらいだな。」

雄二 「所で島田と明久は、1回戦済ませてこい。」

美波 「解ったわ。行くわよ。アキ」

明久 「うん。じゃあ雄二行つてくるね。唯達はライブ頑張ってね。

」

校庭に設置されている会場にて。

教師 「えー、それでは試験召喚大会1回戦を始めます。二回戦までは一般公開もありませんので、リラックスして全力を出してください。」

で、「こちらは明久と美波。

1回戦の科目は古典であり、美波の苦手科目である。

美波 「ウチはぜんぜん力になれないけども、よろしくね。アキ

明久 「任せといてよ。」

明久と美波が会場に上がり、相手と対峙。

対戦相手は、2・Eの中林宏美と三上美子。

宏美 「げつ、吉井明久！？」

学年主席どころか教師もを圧倒する明久を見て戸惑っているようだ。

明久 「げって何！？ 酷くない！？」

宏美 「ごめんなさい。貴方がいた事に驚いただけよ。」

教師 「では、開始して下さい。」

明久・美波・美子・宏美 「試験召喚！」

4人の掛け声で、場に召喚獣が姿を現した。

アカムの防具を纏い、手に双剣を持つた明久の召喚獣。

軍服にサーベルという、美波の召喚獣がFクラススタッグとして。

野球のプロテクターを纏い、ミットとバットを持つ宏美の召喚獣。

白いロープをまとい、手に本を持った美子の召喚獣がEクラススタッグとして姿を現す。

Fクラス 吉井明久&島田美波

古典 1192点&32点

VS

Eクラス 中林宏美&三上美子

古典95点&82点

美波 「アキ！？どうしたのその点数！？」

明久 「本氣で勉強して、頑張つただけだよ。」

美波 「…すゞ…」

明久 「行くよ。腕輪発動。"ベクトル操作"」

宏美 「何で！？召喚獣が動かないのよ！？」

明久 「それが僕の腕輪の能力だよ。」

そう言つて明久の召喚獣は双剣で2人の召喚獣を切り裂いた。

Eクラス 中林宏美&三上美子

古典〇点&〇点

教師 「勝者、吉井・島田ペア」

立ち会いの教師により勝者が告げられ、敵の中林ペアは膝をつく。

明久と美波は、教室に向かつた。

夏川 「この店の料理は不味くて食えないな。常村。」

常村 「そうだな。夏川。」

そんな会話を聞いて明久はぶちきれた。

明久 「黙れ下衆野郎！？」

明久の目は見た物を氷つかせてしまつのような冷たい目だった。

常村 「なんだ。俺達は客だぞ。」

明久 「お前達は客じゃない。そんなに不味いなら食うな。」

そういうて明久が殴るうとした瞬間、明久の拳を止めた人がいた。

ガシツ

それは西村教諭だった。

西村 「やめる。吉井。お前の気持ちは解るが、教師としては、見過ごせん。こここの料理は俺も試食させて貰つたが、絶品だった。常村、夏川。お前達は営業妨害などしているんだ。生徒指導室でゆつくり話を聞かせて貰おう。来い。」

そつ言つて連れて行かれる常村と夏川。

雄二 「よう。明久。勝つたのか。」

明久 「当然。」

そつ言つてハイタッチする2人。

雄二 「それより今の2人は何だ」

明久 「営業妨害だよ。恐らく3年だと思つ。」

雄一 「 そつか。警戒はしどくか。さあ稼ぐぞ明久。」

店を手伝い始める明久と美波であった。

第27話 清涼祭編 清涼祭当日（後書き）

感想お待ちしています。

## 第28話 清涼祭編 ライブ（前書き）

かなり遅れてしまつて申し訳ありません。これからも更新は不定期になります。理由としましては、リアルの生活が忙しいためです。（資格取得試験が近いため）

## 第28話 清涼祭編 ライブ

さて、明久達が常夏コンビを撃退した頃の唯達はライブの準備をしていた。

唯 「じゃあ衣装に皆着替えたよね。もうすぐ本番だけど、緊張しないで行こう。皆で練習したんだから、大丈夫だよ。」

瑞希 「はー。頑張ります。」

梓 「そりですよね。」

律 「澪、緊張しそぎだぞ。」

澪 「だつて、こんな大勢の前で歌うだから、しじうがないだろ。あとこの衣装も恥ずかしいぞ。」

澪達の衣装は、アニメけいおん！の12話のライブの時衣装を想像して下さい。瑞希と秀吉はコスプレ中華喫茶の宣伝のため、喫茶店の衣装である。

唯 「お密せん結構入ってるよ。」

澪 「緊張が止まらない。」

律 「行くぞ。」

唯・澪・ムギ・梓・瑞希・秀吉 「おー。」

一方そのころ明久達は、ライブの様子を雄一と見に来ていた。

雄二 「俺の考えすぎかもしれないが、念のためな。」

明久 「雄一の言つてることは間違つてはいないよ。営業妨害なんて普通はしないからね。」

雄二 「この客入りからして、問題はないと思うが、何があつたら俺達で潰すぞ。明久。」

明久 「了解。」

そんなこんなで開演した。

唯 「今日は私達のライブに来てくれてありがとうございます。」

律 「（唯のMCは安心して聞いてられるな。）」

唯 「では聞いて下さい。Caga yake-GIRLS」

唯 「ガチでカシマシ Never Ending Girls -Talk 終業チャイムまで待てない 遅刻はしても早退はNO Non Non Non...」

唯 「Shining Shiner Shinyest Girl Is be ambitious & shine」

唯 「ありがとうございました。私達のクラス2-Fはコスプレ中華喫茶やっていますのでよろしくお願いします。この2人の着ている衣装は喫茶店の物です。」

瑞希 「よろしくお願ひします。」

ガチガチに緊張している瑞希。

秀吉 「味にも自信があるので、ぜひこのライブが終わった後にぜひ寄つていて下さいね。」

常村 「あんな不味い店なんかに行けるかつての。なあ夏川。」

夏川 「ああ、このライブも下手だしな。2・Fは最低だつてことだな。」

2人の大声が響く。

明久 「何で、あの2人がいるの？西村先生に連れていかれたはずなのに。」

雄二 「恐らくだが、西村先生より上の人があ動いたんだろう。学園長か教頭だな。」

明久 「でも学園長はこんなことをしてもメリットがないよ。ってことは……」

雄二 「教頭だらうな。何故Fクラスを狙うかは予想がつくが……」

明久 「何で？」

雄二 「あの時のことを思い出せ。学園長と教頭が言い合っていただろ。恐らく学園長の失脚を狙っているんだろう。チケットではな

く、腕輪に原因があるはずだ。」

明久 「どうして腕輪に原因つて断定できるの？」

雄二 「あのとき、明久とFクラス並の成績の奴を指定しただろ。出場させるなら誰でも良いはずだ。そんなことは後にしてあの2人をボコるぞ。」

明久 「了解。」

明久達が殴り掛かろうとした時、

西村 「またお前か。ちょっと来い。」

また西村教諭が2人を連衡しようとしたが、

明久 「ちょっと待ってください。西村先生。」

西村 「何だ？ 吉井。」

明久 「どうしてこの2人は補習室から出られたんですか。」

西村 「それは…」

雄二 「教頭だな？」

西村 「ああその通りだ。」

雄二 「上等だ。このケンカ買ってやるぜ。明久絶対優勝しろ。次の試合がそろそろ始まるぞ。」

明久 「あの下衆野郎叩き潰してやる。」

明久を本氣で怒らせてしまつたようだ。

西村 「すまんな。吉井に坂本。俺は行くぞ。」

そう言って去つていく西村教諭。

唯 「では氣を取り直して次に行きましょう。」

いひじてライブは終わつた。

このあと明久達の想像を超える事件が発生することはいよいよに入る全員は予想もしていなかつた。

第28話 清涼祭編 ライブ（後書き）

感想お待ちしています。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0577x/>

---

バカとテストとけいおん部

2011年11月23日20時49分発行